

B5サイズで
作成しています

令和7年度大学入学共通テスト

試作問題『地理総合，歴史総合，公共』〔100点*〕

*『地理総合，歴史総合，公共』は、「地理総合」，「歴史総合」及び「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答する（配点は各50点）。

○ 試験時間 60分

○ 出題範囲 「地理総合」「歴史総合」及び「公共」

上記のうち2つを選択解答する。

「地理歴史」「公民」は以下の出題科目6科目のうちから最大2科目を選択し，解答する。

『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』
『公共，倫理』，『公共，政治・経済』，『地理総合，歴史総合，公共』

2科目を選択解答する受験者が『地理総合，歴史総合，公共』を選択する場合，選択可能な組合せは以下のとおり。

○：選択可能，×：選択不可

| | 『地理総合，歴史総合，公共』 | | |
|--------------|------------------|----------------|----------------|
| | 「地理総合」 「歴史総合」 | 「地理総合」 「公共」 | 「歴史総合」 「公共」 |
| 『地理総合，地理探究』 | × | × | ○ |
| 『歴史総合，日本史探究』 | × | ○ | × |
| 『歴史総合，世界史探究』 | × | ○ | × |
| 『公共，倫理』 | ○ | × | × |
| 『公共，政治・経済』 | ○ | × | × |

○ 作成の趣旨及び留意点

本試作問題は，令和7年度大学入学共通テストから新たに出題科目として設定する『地理総合，歴史総合，公共』について具体的なイメージの共有のために作成・公表するものです。

本試作問題は専門家により作成されたものですが，過去の大学入試センター試験や大学入学共通テストと同様の問題作成や点検のプロセスを経たものではありません。

なお，令和7年度大学入学共通テストの出題内容については，本試作問題の作成を踏まえつつ，引き続き検討することとしています。

※ 本試作問題に関する説明は，「試作問題「地理歴史」の概要」及び「試作問題「公民」の概要」を御覧ください。

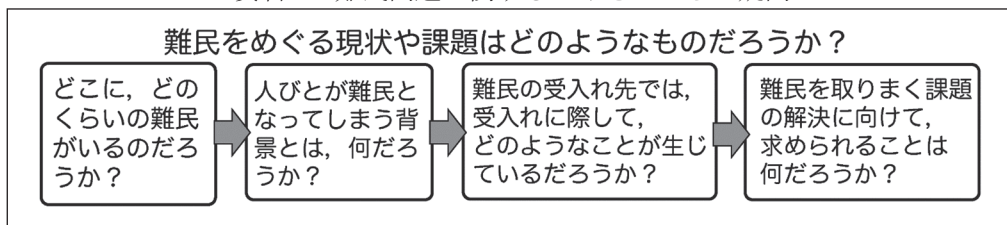
地 理 総 合

地 理 総 合

(解答番号 ~)

第1問 ニュースをきっかけに難民問題に関心をもったレイさんたちは、それぞれの疑問を整理し、次の資料1のような過程で追究した。難民問題に関する次の問い(問1~4)に答えよ。(配点 12)

資料1 難民問題に関するレイさんたちの疑問



問1 レイさんたちは、難民が発生している地域や難民の数を把握するために、後の図1を作成した。図1に関するレイさんたちと先生との会話文中の下線部①~④のうちから、誤りを含むものを一つ選べ。

先生 「2000年には約1200万人であった世界の難民は、2020年には約2070万人となりました。図1からは、どのようなことが読み取れますか」

レイ 「難民は、両年ともアフリカや① 西アジアの国々で多く発生していることが分かります」

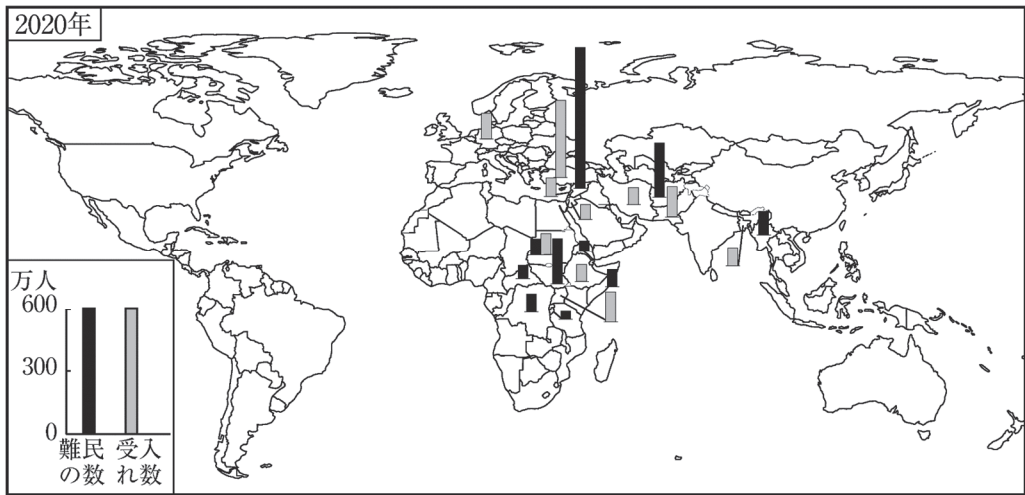
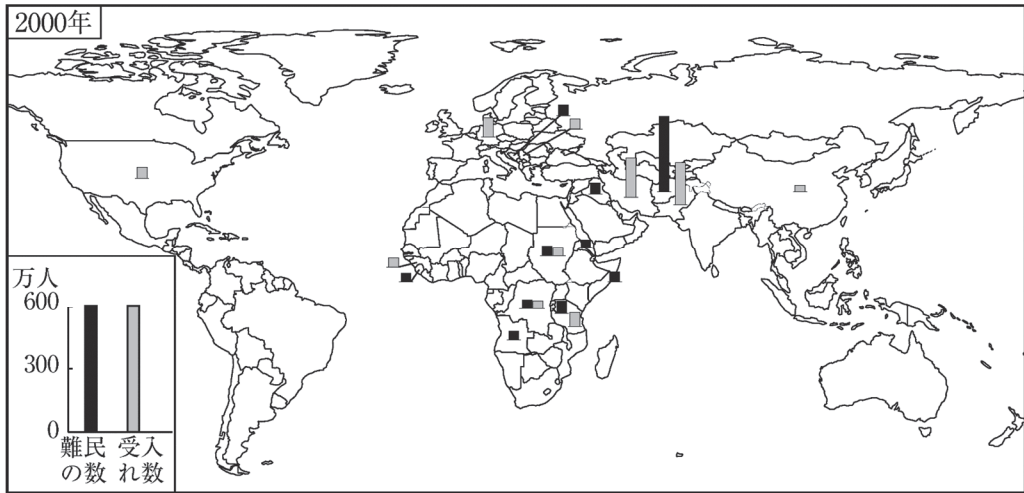
シノブ 「2000年と2020年の図を見比べると、この間に、② 新たな内戦・紛争や政治的迫害が生じていることが推測できます。また、紛争や政情不安が長期化している国もありそうです」

カエデ 「受け入れについてみると、両年とも受け入れ数上位の多くが、③ 難民の出身国周辺の国であることが分かります」

先生 「受け入れ先の地域差について考えてみましょう。各国の経済規模との関係を見る指標として、GDP1ドル当たりの難民受け入れ数があります」

レイ 「例えば、2020年に同程度の難民を受け入れているドイツとアフリカのウガンダを比べると、④ドイツの値の方が大きくなると考えられます」

先生 「難民の出身国と受け入れ先の両方を調べていく必要がありますね」



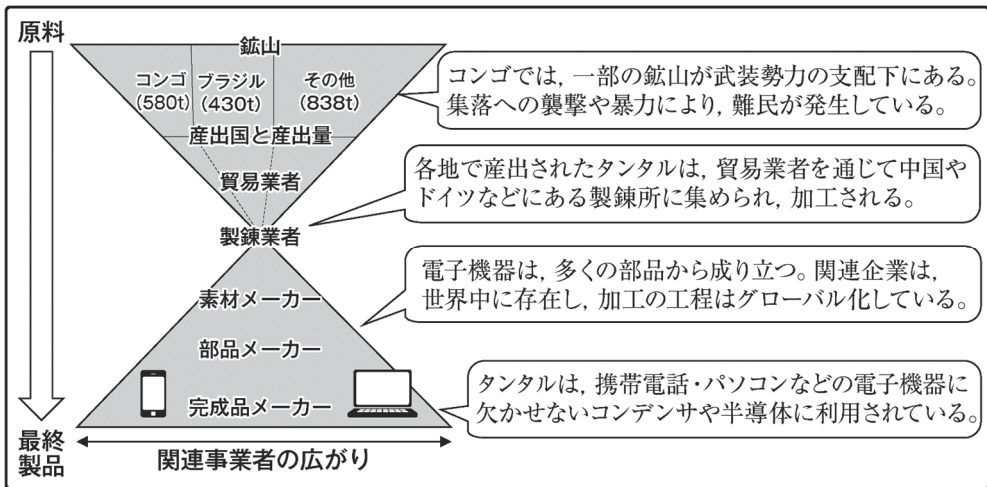
パレスチナ難民および国外に逃れたベネズエラ人は含まない。UNHCRの資料により作成。

図1 難民の数と受け入れ数の上位10か国

問2 シノブさんは、難民が生まれる背景について、アフリカ中央部のコンゴ民主共和国(コンゴ)における紛争鉱物*を事例として調べ、次の資料2にまとめた。資料2について述べた文として**適当でないもの**を、後の①～④のうちから一つ選べ。 2

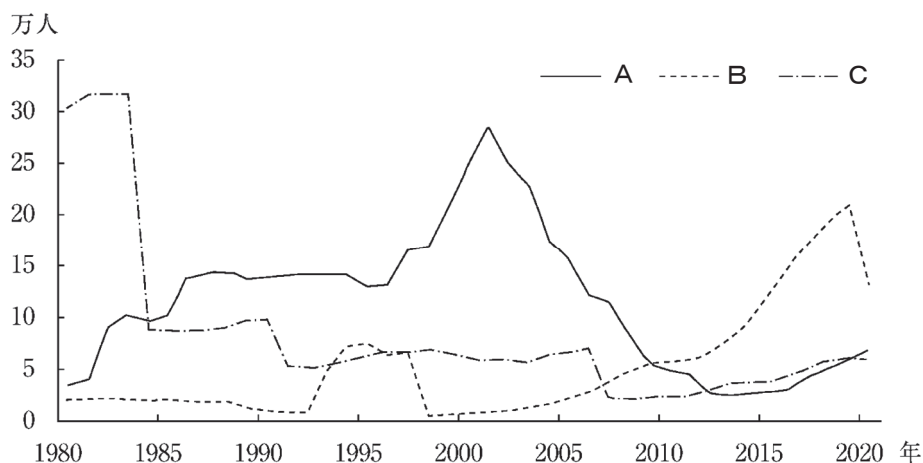
*内戦・紛争にかかわる武装勢力の資金源となるおそれのある鉱物。

資料2 紛争鉱物であるタンタルのサプライチェーンの概念図



問3 カエデさんは、難民の受入れ先に興味をもち、受入れに関する動向を調べた。次の文章ア～ウは、イタリア、オーストラリア、アフリカのザンビアのいずれかにおける難民の受入れ状況について述べたものであり、後の図2中のA～Cは、それぞれの難民の受入れ数を示したものである。オーストラリアに該当する文章と凡例との正しい組合せを、後の①～⑨のうちから一つ選べ。 3

- ア 2002年まで内戦が続いた隣国から多くの難民を受け入れてきた。難民の自立や社会への統合を進めるため、滞在許可や土地を与える取組みがある。
- イ 移民国家であり、1970年代のベトナム戦争で発生した難民を多く受け入れた。2001年以降は保護を求めて流入する難民への対応を厳しくした。
- ウ 北アフリカなどから多くの難民が流入している。2010年以降、難民数や負担が増大し、国内では受入れに否定的な意見もある。



UNHCRの資料により作成。

図2 難民の受入れ数の推移

| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 文章 | ア | ア | ア | イ | イ | イ | ウ | ウ | ウ |
| 凡例 | A | B | C | A | B | C | A | B | C |

問4 難民をめぐる現状や課題について追究してきたレイさんたちは、これまでの学習で明らかにしてきた課題と、考えられる解決策について次の資料3にまとめた。資料3中の空欄EとFには語句aとbのいずれか、空欄力とキには語句xとyのいずれかが当てはまる。空欄Eと力に当てはまる語句の組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 4

資料3 レイさんたちがまとめたポスター



EとFに当てはまる語句

- a 教育・職業訓練の提供
- b 選挙・民主化に対する支援

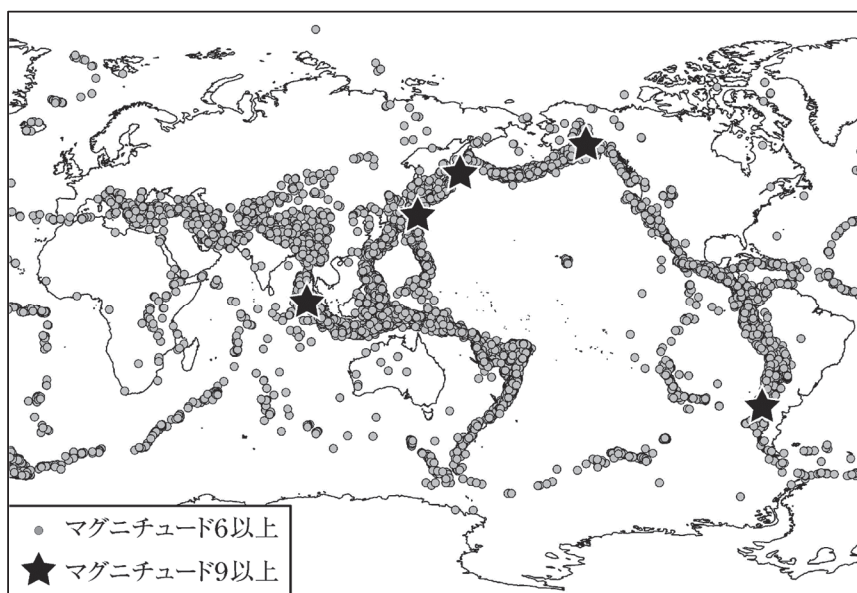
カとキに当てはまる語句

- x 責任の分担
- y 多文化共生

| | ① | ② | ③ | ④ |
|---|---|---|---|---|
| E | a | a | b | b |
| カ | x | y | x | y |

第2問 自然環境と防災に関する次の問い(問1~4)に答えよ。(配点 13)

問1 次の図1と地震に関することからについて述べた文として最も適当なものを、後の①~④のうちから一つ選べ。 5



USGSの資料により作成。

図1 1900年以降に発生した地震の震央

- ① 巨大津波を伴う地震は、1900年より前にも繰り返し発生していたことが、地層に残された痕跡や古文書の記録などから知られている。
- ② 東京における地震の発生頻度は、ニューヨーク、パリ、ロンドンと同程度と考えられる。
- ③ マグニチュード9程度の地震は、広がるプレート境界で発生しやすい。
- ④ 陸域の活断層による地震では、せばまるプレート境界で起こる海溝型地震よりも、広域で強い揺れが発生しやすい。

問 2 次の図 2 に示した地域について、地形と災害リスクを述べた文章中の下線部

①～④のうちから、適当でないものを一つ選べ。 6



地理院地図により作成。

図 2 ある地域の地形図と地形分類図

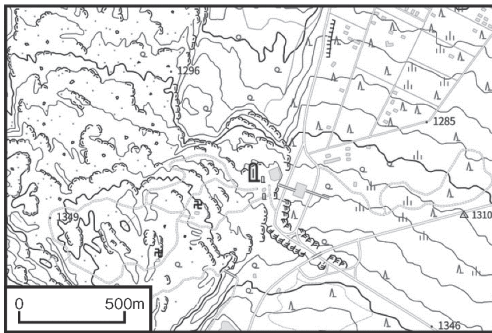
この地域では、河川の蛇行部をショートカットする人工的な流路をつくることで、①増水時にも河川の水を流れやすくして洪水発生リスクの低減が図られた。旧河道の一部は盛土造成が行われ、この盛土造成地にある②地点Aは、地点Bよりも地震発生時に液状化が発生する可能性が高いと考えられる。河川氾濫時のリスクとしては、③地点Cは、浸水しやすく、浸水した状態が長時間継続しやすい。また、④地点Dは、地点Eよりも浸水深が大きくなり、浸水した状態が継続する時間も長くなる可能性が高いと考えられる。

問3 次の資料1は、後の図3中の①～④のいずれかに位置する自然災害伝承碑について、その碑文の一部を現代語に訳したものである。資料1の内容が記された自然災害伝承碑に該当するものを、図3中の①～④のうちから一つ選べ。 7

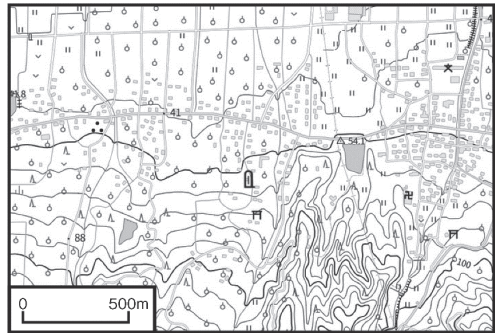
資料1 碑文の現代語訳(一部)

…突如として、山が鳴り、大地が大いに揺れ動き、立派な建物や民家が数多く倒壊しました。大地はひだのように割れ裂けて、水がしきりに噴き出し…(中略)…海潮はわきあがって、田畑をおおいつくします。田畑が水に沈み海のようなのである…

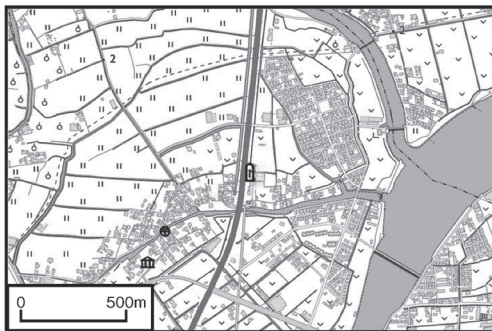
自治体の資料により作成。



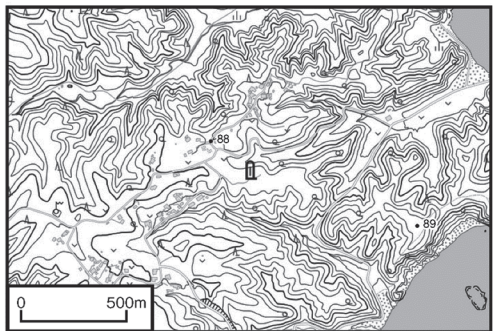
①



②



③

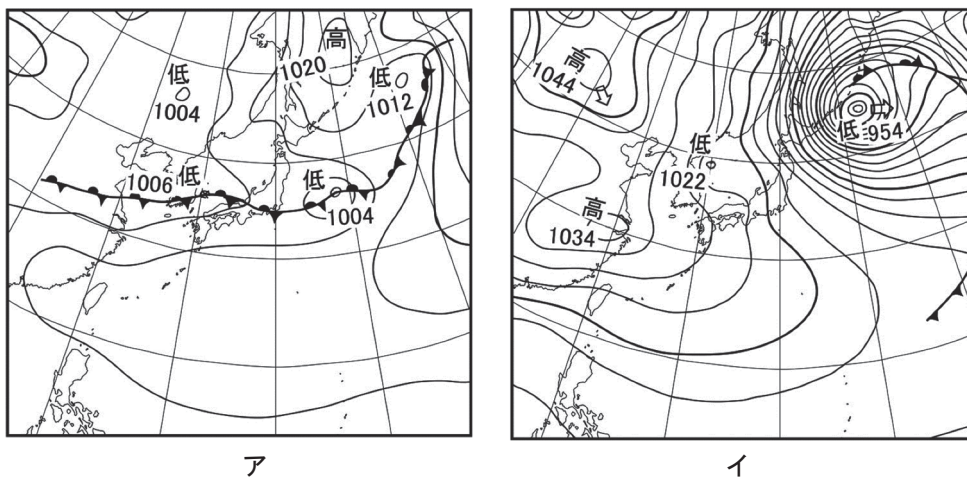


④

地理院地図により作成。

図3 いくつかの地域における自然災害伝承碑の位置

問4 次の図4中の天気図アとイは、異なる季節の典型的な気圧配置を示したものである。また、後の写真1中のJ～Lのうち二つは、アとイのいずれかの気圧配置時に日本で発生しやすい気象現象や、それによる被害を軽減するための構造物を撮影したものである。ア、イとJ～Lとの組み合わせとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 8



気象庁の資料により作成。

図4 異なる季節の天気図

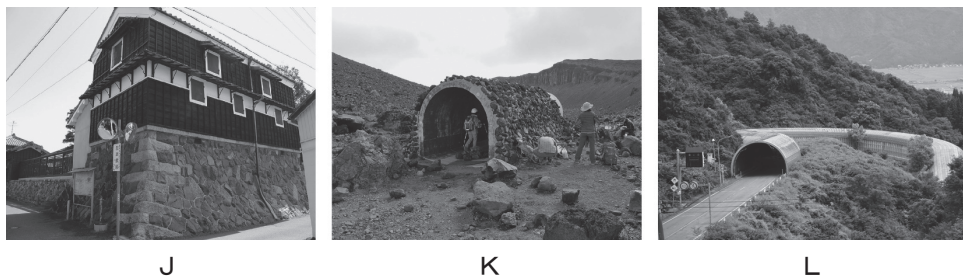


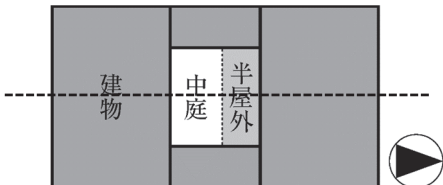
写真1 構造物

| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ア | J | J | K | K | L | L |
| イ | K | L | J | L | J | K |

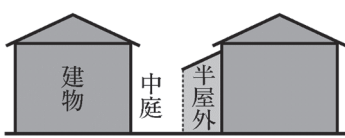
第3問 生活文化の多様性に関する次の問い(問1～4)に答えよ。(配点 13)

問1 次の資料1中の空欄アにあてはまる語句として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 9

資料1 しごういん 四合院建築



四合院建築を上から見た図



左図の点線に沿った断面図

建物で囲まれた中庭を持つ建築様式は、四合院建築と呼ばれ、中国各地で見られる。中庭は、寒い地域では日照を、暑い地域では日陰をもたらすよう工夫されている。また、雨が多い地域では屋根を付け、半屋外空間を設けている場合もある。四合院建築は、各地の環境に適応しており、中庭と半屋外空間の建築面積に占める割合は、(ア)の値の大小によって変化する。

中国各地の代表的な四合院建築の特徴

| (ア) | 建築面積に占める割合(%) | |
|-----|---------------|-------|
| | 中庭 | 半屋外空間 |
| 小 | 11 | 46 |
| ↓ | 20 | 3 |
| ↓ | 49 | 2 |
| 大 | 69 | 0 |

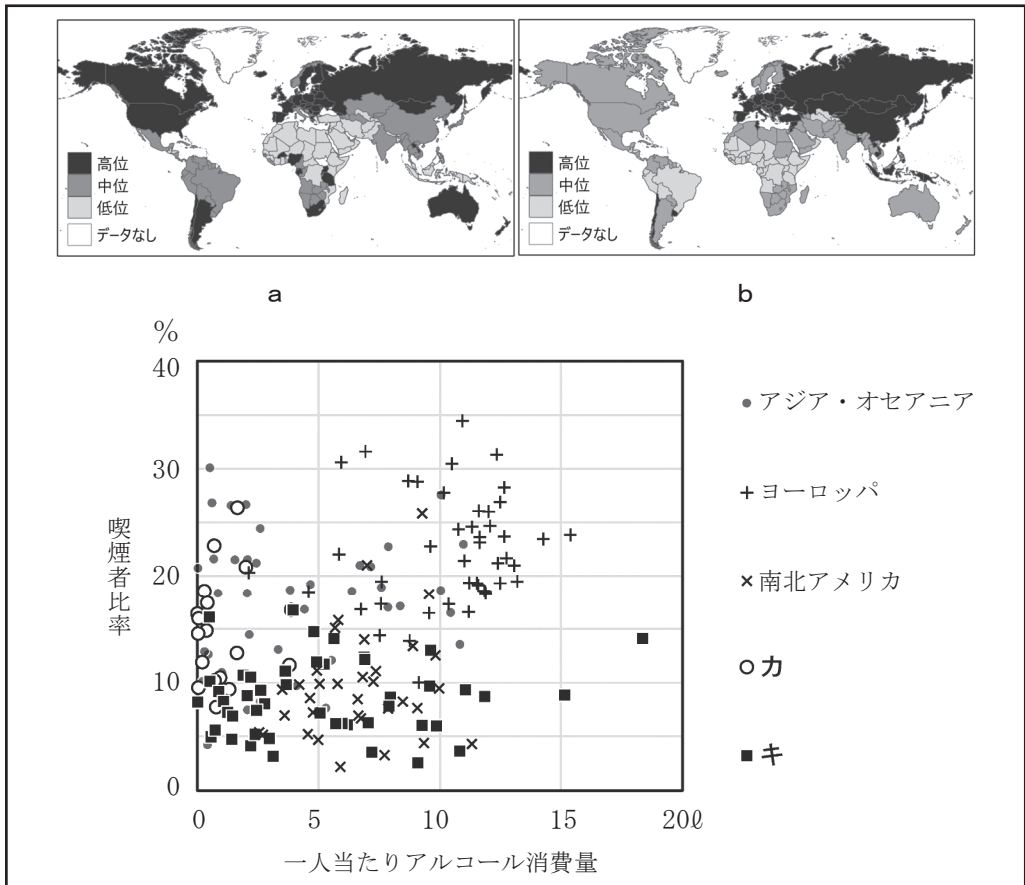
王・田中(2000)などにより作成。

- ① 緯度 ② 経度 ③ 平均気温 ④ 年間降水量

問2 嗜好品しこうひんの消費は、文化や所得との関連が深い。次の資料2中のaとbは喫煙者比率と一人当たりアルコール消費量のいずれか、カとキは中東*・北アフリカとサハラ以南アフリカとのいずれかである。喫煙者比率とサハラ以南アフリカとの正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 10

*アフガニスタン，イラン，トルコは含まない。

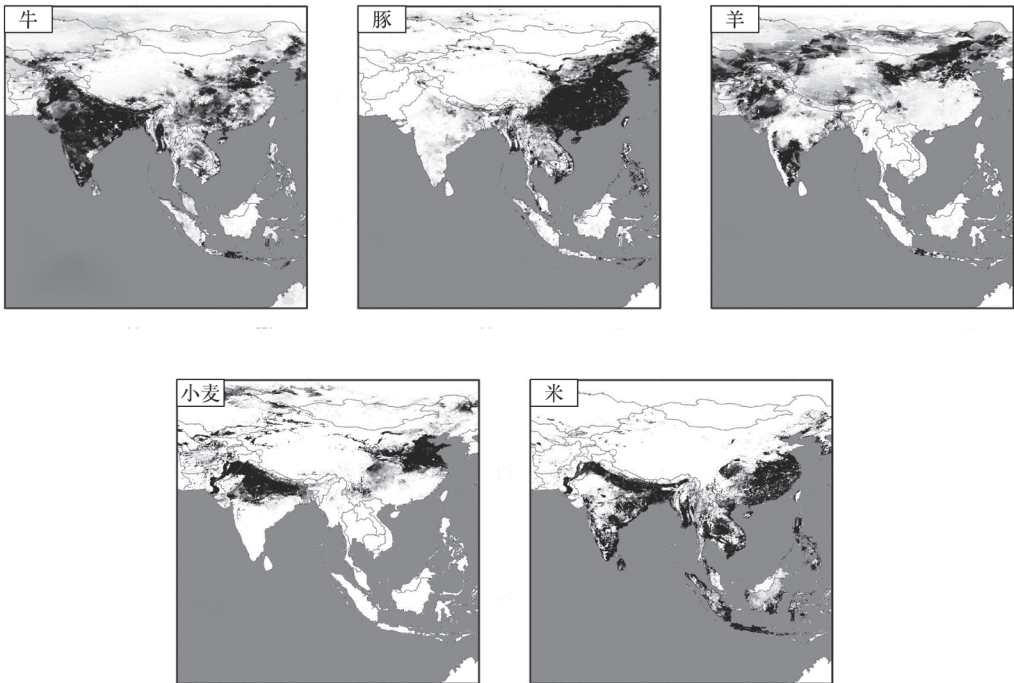
資料2 喫煙者比率と一人当たりアルコール消費量の主題図と散布図



統計年次は喫煙者比率が2016年，アルコール消費量が2015年。Our World in Dataにより作成。

| | ① | ② | ③ | ④ |
|-----------|---|---|---|---|
| 喫煙者比率 | a | a | b | b |
| サハラ以南アフリカ | カ | キ | カ | キ |

問3 次の図1に関することがらについて述べた文章中の下線部①～④のうち、適当でないものを一つ選べ。 11



陸域では、色の濃い部分ほど単位面積当たりの値が大きい地域を示している。
統計年次は2010年。FAOの資料により作成。

図1 単位面積当たりの家畜の飼育頭数と穀物の生産量

食料生産は、自然環境と密接な関係がある。①米と小麦の主な産地は、沖積平野に分布していることがわかる。米の二期作は、年中温暖かつ湿潤な地域で、②米と小麦の二毛作は、明瞭な乾季がある地域で主に行われている。羊は、主に草原に放牧されることから、③羊の分布は、サバナ気候の分布とよく一致する。

食料生産は、社会条件とも関係がある。肉食主義者が多いインドでは、乳製品の消費量が多く、牛の飼育頭数も多い。また、インドでは④豚の飼育頭数は、イスラーム圏と同様に少ない。

問4 次の写真1は、ある地域の伝統行事で食べられる料理を撮影したものである。

この伝統行事が行われる地点として最も適当なものを、後の図2中の①～④

のうちから一つ選べ。 12



写真 1

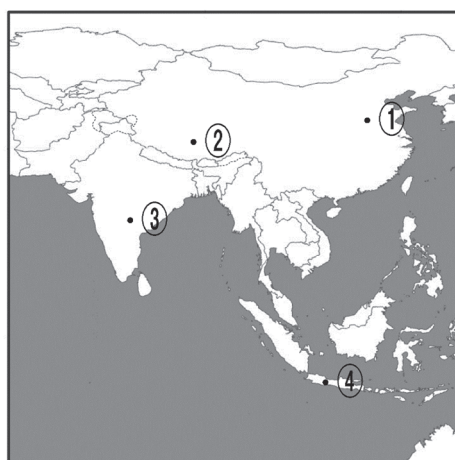
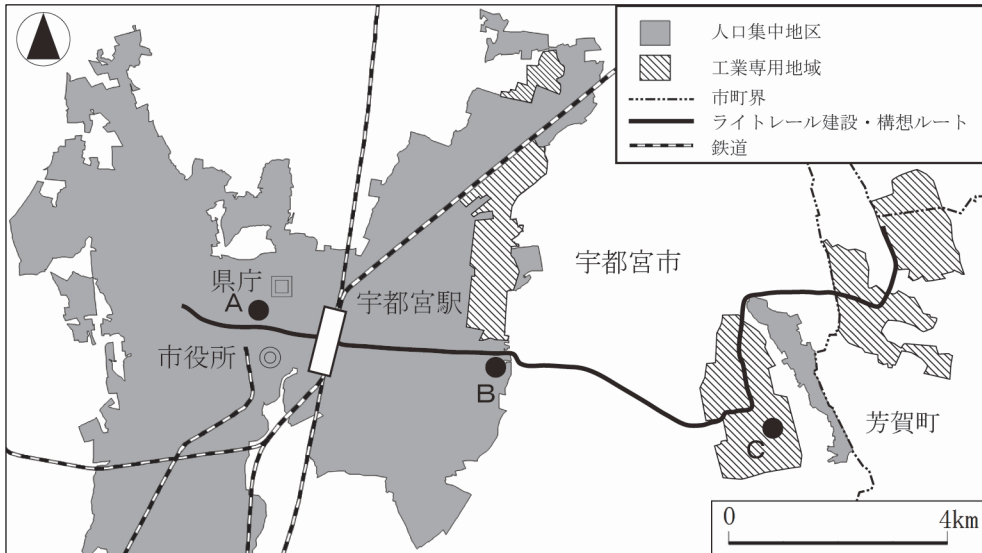


図 2

第4問 栃木県宇都宮市に住む高校生のマコトさんたちは、次の図1のように、市街地を東西に結ぶライトレール*が建設・構想されていることを知り、宇都宮市と芳賀町の地域調査を行った。この地域調査に関する次の問い(問1~4)に答えよ。
(配点 12)

*小型の車両を用い、路面電車として道路上の軌道を走行できる交通機関。



国土数値情報などにより作成。

図1 宇都宮市・芳賀町におけるライトレール建設・構想ルート

問1 マコトさんたちは、ライトレール建設・構想ルート沿いの景観を観察した。次の写真1中のア~ウは、図1中の地点A~Cのいずれかの景観を撮影したものである。ア~ウとA~Cとの組合せとして最も適当なものを、後の①~⑥のうちから一つ選べ。 13



ア



イ



ウ

写真1 ライトレール建設・構想ルート沿いの景観

| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ア | A | A | B | B | C | C |
| イ | B | C | A | C | A | B |
| ウ | C | B | C | A | B | A |

問 2 マコトさんたちは、宇都宮駅の東西で景観が大きく異なることに気づき、後の図 2 の新旧地形図をもとに、ライトレール建設・構想ルート周辺の地域の変化について先生と話し合った。先生とマコトさんたちとの会話文中の下線部 E～G について、正誤の組合せとして正しいものを、後の①～⑧のうちから一つ選べ。

14

先生 「近世の宇都宮は、宿場町や城下町として発展しました。1909 年の地図からどのようなことが読み取れますか」

マコト 「E 宇都宮市街地は、城を中心に同心円状に広がっていたことが読み取れます」

ツカサ 「図 2 は、ライトレール建設・構想ルート沿いの地域の地図ですね。宇都宮駅の西側では、F 古くからの市街地を横断するようなライトレール建設・構想ルートであることが読み取れます」

トウナ 「宇都宮駅東側の都市化は、過去約 100 年の間に進んだようですね。宇都宮駅東側は、1909 年時点では大半が農地や森林でしたが、その後、G 直線的な道路が多数新設され、市街化が進んだことが読み取れます」

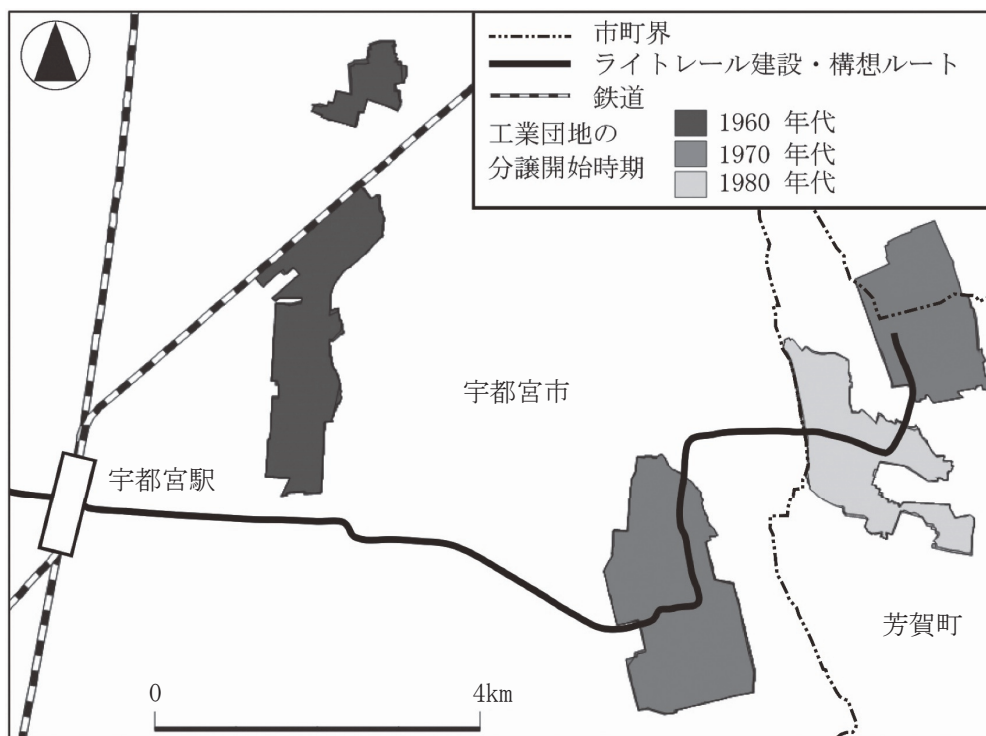
| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| E | 正 | 正 | 正 | 正 | 誤 | 誤 | 誤 | 誤 |
| F | 正 | 正 | 誤 | 誤 | 正 | 正 | 誤 | 誤 |
| G | 正 | 誤 | 正 | 誤 | 正 | 誤 | 正 | 誤 |



旧地形図は1909年発行の5万分の1地形図(原寸, 一部改変), カとキは地理院地図により作成。

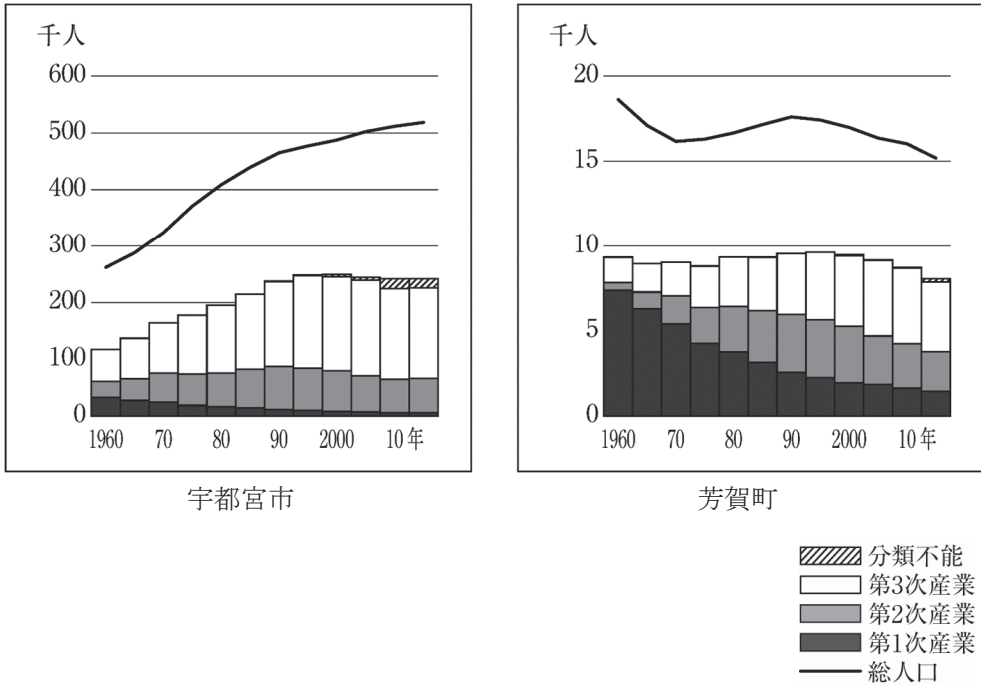
図2 ライトレール建設・構想ルート周辺の新旧地形図

問 3 マコトさんは、工場が多数立地する地域にライトレール建設・構想ルートが位置する背景について調査するため、次の図3と図4を作成した。これらの図に関することがらについて、マコトさんたちがまとめた文章中の下線部①～④のうちから、誤りを含むものを一つ選べ。 15



栃木県資料などにより作成。

図3 ライトレール建設・構想ルートの周辺地域における工業団地



2005年より前の宇都宮市の値は、合併前の市町の値を合算したもの。国勢調査などにより作成。

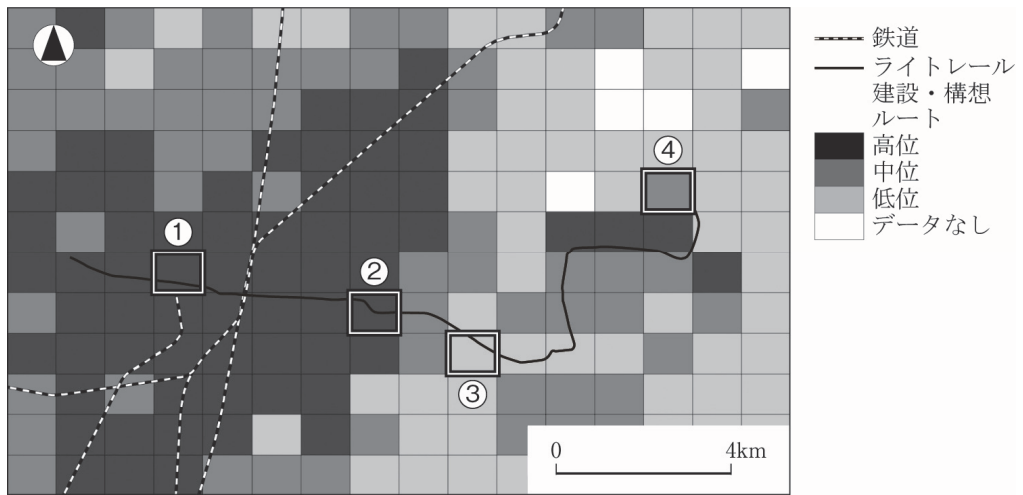
図4 宇都宮市・芳賀町の総人口と産業別就業者数

この地域における工業団地の開発は、①宇都宮市の中心市街地に近い地区からはじまり、芳賀町へと広がった。開発が盛んになるとともに芳賀町の人口は、②1970年からの20年間、増加傾向であった。この期間、第2次産業就業者の割合は、芳賀町が宇都宮市を上回っていたが、③就業者の総数は、宇都宮市が芳賀町を上回っていた。1990年以降も、宇都宮市では人口が増加し続けており、④宇都宮市における製造業の雇用も大きく増加し続けている。

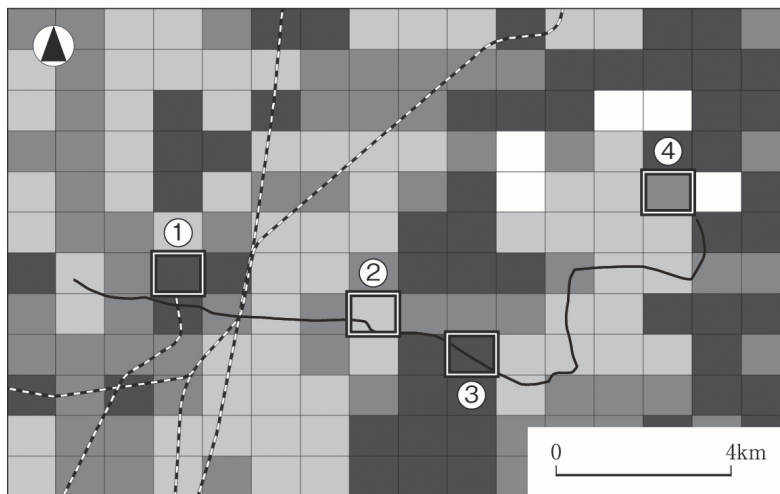
問 4 マコトさんたちは、ライトレールに期待されていることを考察するために、建設・構想ルート周辺のある地区で聞き取り調査を行い、次の資料1にまとめた。また、後の図5は、マコトさんたちがGISを用いて作成した建設・構想ルート周辺の統計地図である。マコトさんたちが聞き取り調査を行った地区として最も適当なものを、図5中の①～④のうちから一つ選べ。 16

資料1 聞き取り調査の結果

- ・ライトレールの建設により、働いている人の通勤がもっと便利になることが期待される。
- ・この地区は商店が多く、ライトレールの建設によって人通りが増え、商店のお客さんも増えることが期待される。
- ・この地区の住民には高齢者が多いため、交通弱者の移動が容易になることが期待される。



卸売・小売業従業者数



老年人口率

統計年次は老年人口率が2015年、製造業従業者数と卸売・小売業従業者数が2016年。経済センサスなどにより作成。

図5 ライトレール建設・構想ルート周辺の統計地図

歴史総合

歴史総合

(解答番号 ~)

第1問 歴史総合の授業で、「人やモノの移動とその影響」という主題を設定し、環太平洋地域を取り上げて、各班で発表をまとめた。二つの班の発表について述べた次の文章A・Bを読み、後の問い（問1～9）に答えよ。（資料には、省略したり、改めたりしたところがある。）（配点 25）

A 上原さんの班は、19世紀の交通革命による世界の一体化の進行に関心を持ち、太平洋がそれとどう関わったかに着目して、調べたことをパネル1にまとめた。

パネル1

◇交通革命とは何か

- ・主に1850年代から1870年代にかけて進行した、世界の陸上・海上の交通体系の一大変革を指す。
- ・船舶・鉄道など交通手段の技術革新と、新しい交通路の開発とによって、移動の時間・距離の大幅な短縮と定期的・安定的な移動・輸送の確立とが実現した。

◇海路における交通革命の主役＝蒸気船

- 〈強み〉快速で、帆船と違って風向や海流などの自然条件に左右されにくい。
- 〈弱み〉燃料の の補給ができる寄港地が必要。

◇交通革命と太平洋

- ・18世紀以来、㉓北太平洋には、欧米の船が海域の調査や物産の獲得、外交・通商の交渉などを目的として進出していた。しかし、19世紀半ばまで、蒸気船を用いて太平洋を横断する定期的な交通は確立していなかった。
- ・㉔アメリカ合衆国は、中国貿易の拡大を目指して太平洋への進出を図った。後の図1を見ると、代表的な貿易港である まで、アメリカ合衆国から蒸気船で最短距離で行くには、必ず日本周辺を經由することが分かる。㉕アメリカ合衆国が、航路の安全を確保し、かつ蒸気船が往復の航海で必要とする を入手するためには、日本と関係を結ぶ必要があった。

図1 当時考えられていた太平洋横断航路



→1867年、日米間の太平洋横断定期航路が開設される。

まとめ：世界周回ルート[㊤]の成立で、㊤1870年代には世界の一体化が大きく進展。

問1 文章中の空欄 **ア** に入る語句あ・いと、下線部㉔を目的になされた出来事 X～Z との組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

1

ア に入る語句

あ 石油 い 石炭

下線部㉔を目的になされた出来事

X モンロー教書（モンロー宣言）の発表

Y 日本に対するハル=ノートの提示

Z 日米和親条約の締結

① あ — X

② あ — Y

③ あ — Z

④ い — X

⑤ い — Y

⑥ い — Z

問 2 下線部㉔に関連して、上原さんの班は、ロシアがアロー戦争（第 2 次アヘン戦争）の際に清から沿海州を獲得して、そこに図 1 中のウラジヴォストークを築いて拠点としたことを知り、ロシアの太平洋方面への進出に関する資料を集めた。ロシアによる沿海州の獲得時期と資料 1・2 に書かれている内容とについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 2

資料 1

- 一 今後、樺太全島はことごとくロシア帝国に属し、宗谷海峡を両国の境界とする。
- 二 ロシア国皇帝陛下は、引き換えに千島列島の全ての権利を日本国皇帝陛下に譲り、今後は千島全島は日本に属する。

資料 2

ロシアから使節が派遣されてきたのは、女帝エカチェリーナ 2 世の使節ラクスマンが遣わされ、幕府に漂流民を送り届けるために来航してきたことなどが始まりであった。

- ① 資料 1 — 資料 2 — 沿海州の獲得
- ② 資料 1 — 沿海州の獲得 — 資料 2
- ③ 資料 2 — 資料 1 — 沿海州の獲得
- ④ 資料 2 — 沿海州の獲得 — 資料 1
- ⑤ 沿海州の獲得 — 資料 1 — 資料 2
- ⑥ 沿海州の獲得 — 資料 2 — 資料 1

問 3 上原さんの班は下線部⑤に興味を持ち、当時アメリカ合衆国政府を代表した軍人の報告書である資料 3 を見つけた。文章中の空欄 **イ** に入る語句あ・いと、パネル 1 及び資料 3 から類推できる事柄 X・Y との組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 **3**

資料 3

アメリカ合衆国とメキシコとの戦争終結の条約によって、カリフォルニア地方は合衆国に譲渡された。同地方が太平洋に面する地の利から、人々の関心は自然と商業分野の拡大に向けられた。(中略)もし、東アジアと西ヨーロッパとの間の最短の道が(この蒸気船時代に)アメリカ合衆国を横切るならば、わが大陸が、少なくともある程度は世界の交通路となるに違いないことは十分明白であった。

イ に入る語句

あ 上 海 い 広 州

パネル 1 及び資料 3 から類推できる事柄

X アメリカ合衆国は、自国がヨーロッパから東アジアへの交通路になることを警戒している。

Y アメリカ合衆国の見通しが実現するためには、大陸横断鉄道の建設と太平洋横断航路の開設との両方が必要である。

- ① あ — X
- ② あ — Y
- ③ い — X
- ④ い — Y

問 4 上原さんの班は、発表内容をさらに深めるため、下線部㊸の内容に当てはまる歴史上の事柄について調べた。その事柄として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 4

- ① ドルを基軸通貨とする国際通貨体制の成立
- ② 自由貿易のための世界貿易機関（WTO）の設立
- ③ ヨーロッパ各国の東インド会社が主導したアジア貿易
- ④ 海底電信ケーブルの敷設が進んだことによる通信網の拡大

B 佐藤さんの班は、環太平洋地域における人の移動に関心を持ち、沖縄県からの移民・出稼ぎがどのように広がっていったのかに着目して、調べたことをパネル2～4にまとめた。

パネル2

移民・出稼ぎの始まり

- ・沖縄県からの海外移民は1899年のハワイ移民が最初。その後、中南米諸国や東南アジアなどへも広がった。
- ・第一次世界大戦後の不況で沖縄経済は大打撃を受け、移民が急増。その主要な行先は南洋諸島。大阪など本土への出稼ぎも急増した。
- ・沖縄からの移民先と重なるように、㉔大阪商船の定期航路が南北アメリカ大陸へも拡大。沖縄から大阪への定期航路は、1925年には大阪商船が独占した。

パネル3

太平洋戦争（アジア太平洋戦争）の影響

- ・㉕移民先である南洋諸島や東南アジアが戦場となった。多くの沖縄県出身者が犠牲となったが、生き残った移民の多くは、戦後沖縄へと㉖引き揚げた。
- ・ハワイや中南米諸国への移民の多くは、そのまま現地にとどまった。
- ・本土への出稼ぎ者は、阪神間・京浜間などに集住地域を形成しており、定住する人たちも多かった。

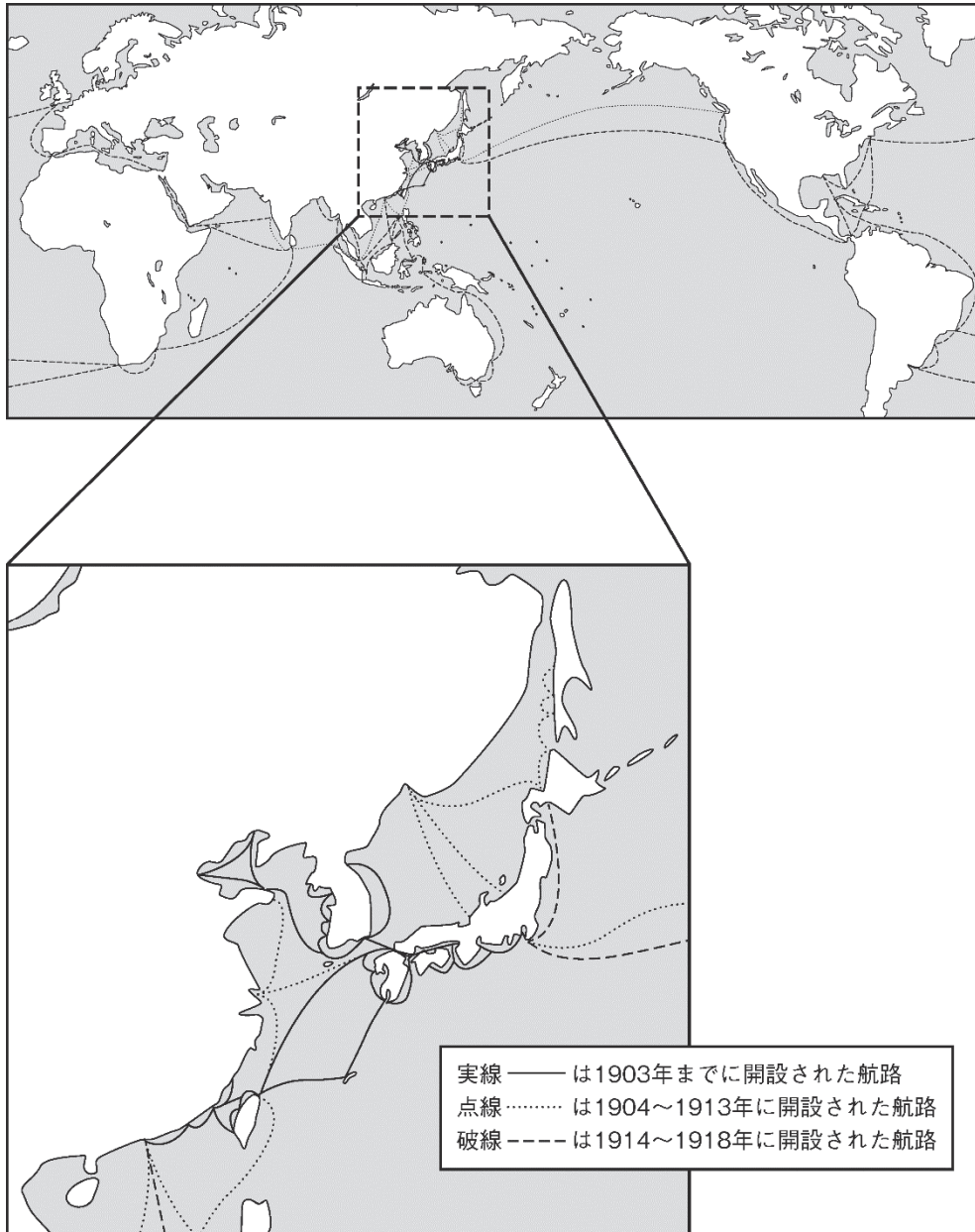
パネル4

米軍による占領と新たな移民・集団就職

- ・沖縄戦によって沖縄は日本本土と切り離され、米軍に占領された。㉗南洋諸島も、戦後アメリカ合衆国の統治下に置かれ、数々の核実験が実施された。その際、島民たちは自分たちの住む島から移住を強いられた。
- ・1950年代には、米軍が、占領下の沖縄で基地を拡張。強制的に土地を接収された人々の一部は、南米などに移民した。1960年代には、日本本土に向けて、日本復帰前の沖縄からも集団就職が実施された。

問 5 佐藤さんの班は、海外への航路の拡大に興味を持ち、下線部㉔について、大阪商船の主な定期航路を時期別に示した図2を見つけた。図2について述べた文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 5

図2



- ① 1903年までの定期航路は、当時の日本が領有していた植民地の範囲にとどまっていたと考えられる。
- ② 南樺太は、日本の領土となったので、定期航路に加えられたと考えられる。
- ③ 1913年以前の中南米諸国への移民は、移民先まで定期航路を利用していたと考えられる。
- ④ 第一次世界大戦中にスエズ運河が開通したことによって、ヨーロッパまで定期航路を延ばしたと考えられる。

問 6 佐藤さんの班は、移民先となった地域の歴史にも興味を持った。下線部①の地域の歴史に関して述べた次の文あ・いについて、その正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 6

- あ ドイツ領南洋諸島は、カイロ会談の結果、日本の委任統治領となった。
- い フィリピンは、太平洋戦争が始まった時、アメリカ合衆国の植民地であった。

- ① あ — 正 い — 正
- ② あ — 正 い — 誤
- ③ あ — 誤 い — 正
- ④ あ — 誤 い — 誤

問 7 佐藤さんの班は、下線部㊸に関連する資料として、太平洋戦争（アジア太平洋戦争）後における、日本本土への国・地域別の復員・引揚げ者数をまとめた表を見つけた。この表について述べた文として**適当でないもの**を、後の①～④のうちから一つ選べ。 7

表 日本本土への国・地域別の復員・引揚げ者数（単位：千人）

| 国・地域 | 軍人・軍属の復員 | 民間人の引揚げ |
|---------|----------|---------|
| ソ 連 | 454 | 19 |
| 満 洲 | 53 | 1,219 |
| 朝 鮮 | 207 | 713 |
| 中 国 | 1,044 | 497 |
| 台 湾 | 157 | 322 |
| 東南アジア | 807 | 85 |
| オーストラリア | 130 | 8 |
| 沖 縄 | 57 | 12 |
| 総 計 | 3,107 | 3,190 |

（2015年3月現在，厚生労働省まとめ）

（注）いずれの国・地域も，99.7%以上が1956年までに復員・引揚げを終えている。

（注）一部の国・地域を省略したため，各欄の合計と「総計」の数字とは一致しない。

- ① シベリアに抑留された者の復員数と，満洲・中国からの復員数を合わせると，復員数全体の3分の2を超えていることが読み取れる。
- ② 引揚げ者数が復員数を上回っている国・地域は，日本が植民地としたり事実上支配下に置いたりしたところであることが読み取れる。
- ③ 東南アジアからの復員が中国に次いで多いのは，太平洋戦争中に日本軍が占領したからであると考えられる。
- ④ 沖縄から日本本土への引揚げ者がいたのは，沖縄がアメリカ合衆国の軍政下に置かれたからであると考えられる。

- 問 8 下線部①に関して、南洋諸島の一つであるマーシャル諸島では、戦後にアメリカ合衆国によって水爆実験が行われた。佐藤さんの班は、この実験をきっかけに科学者たちによって1955年に発表された「ラッセル=アインシュタイン宣言」にも興味を持った。その一部である資料4から読み取れる事柄あ～えについて、正しいものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 8

資料4

そのような爆弾が地上近く、あるいは水中で爆発すれば、放射能を帯びた粒子が上空へ吹き上げられます。これらの粒子は死の灰や雨といった形で次第に落下し、地表に達します。日本の漁船員と彼らの漁獲物を汚染したのは、この灰でした。(中略)

軍備の全般的削減の一環として核兵器を放棄するという合意は、最終的な解決に結び付くわけではありませんが、一定の重要な目的には役立つでしょう。

第一に、緊張の緩和を目指すものであるならば何であれ、東西間の合意は有益です。第二に、核兵器の廃棄は、相手がそれを誠実に履行していると各々の陣営が信じるならば、真珠湾式の奇襲の恐怖を減じるでしょう。(中略) それゆえに私たちは、あくまで最初の一步としてではありますが、そのような合意を歓迎します。

- あ 核の平和利用を推進していこうとする姿勢が読み取れる。
- い 核兵器の放棄という合意が、軍備の全般的削減に役立つと考えていることが読み取れる。
- う 第二次世界大戦の経験を基に、対立する相手陣営側の核兵器の廃棄を一方的に先行させようとする姿勢が読み取れる。
- え 第五福竜丸の被曝^{ひばく}を、事例として取り上げていることが読み取れる。

- ① あ・う ② あ・え ③ い・う ④ い・え

問 9 上原さんの班と佐藤さんの班は、環太平洋地域における人やモノの移動とその影響についての発表を踏まえ、これまでの授業で取り上げられた観点に基づいて、さらに探究するための課題を考えた。課題あ・いと、それぞれについて探究するために最も適切と考えられる資料W～Zとの組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 9

さらに探究するための課題

あ 自由と制限の観点から、第二次世界大戦後における太平洋をまたいだ経済の結び付きと社会への影響について探究したい。

い 統合と分化の観点から、海外に移住した沖縄県出身者と移住先の社会との関係について探究したい。

探究するために最も適切と考えられる資料

W アメリカ合衆国における、日本からの自動車輸入台数の推移を示した統計と、それを批判的に報じたアメリカ合衆国の新聞の記事

X アジア太平洋経済協力会議（APEC）の参加国の一覧と、その各国の1人当たりGDPを示した統計

Y 沖縄県出身者が海外に移住する際に利用した主な交通手段と、移住に掛かった費用についてのデータ

Z 移民が移住先の国籍を取得する条件と、実際に移住先で国籍を取得した沖縄県出身者の概数

① あ — W い — Y

② あ — W い — Z

③ あ — X い — Y

④ あ — X い — Z

(下書き用紙)

歴史総合の問題は次に続く。

第2問 歴史総合の授業で、世界の諸地域における人々の接触と他者認識について、資料を基に追究した。次の文章A～Cを読み、後の問い（問1～8）に答えよ。（資料には、省略したり、改めたりしたところがある。）（配点 25）

A 19世紀のアジア諸国と欧米諸国との接触について、生徒と先生が話をしている。

先生：19世紀はアジア諸国と欧米諸国との接触が進んだ時期であり、アジア諸国の人々と欧米諸国の人々との間で、相互に反発が生じることがありました。例えば日本の開港場の一つであった横浜の近郊では、薩摩藩の行列と馬に乗ったイギリス人の一行との間に、図に描かれているような出来事が発生しています。それでは、この出来事に関連する他の資料を図書館で探してみましょう。

（この後、図書館に移動して調査する。）

高橋：横浜の外国人居留地で発行されていた英字新聞の中に、この出来事を受けて書かれた論説記事を見つけました。

（ここで、高橋が①英字新聞の論説記事を提示する。）

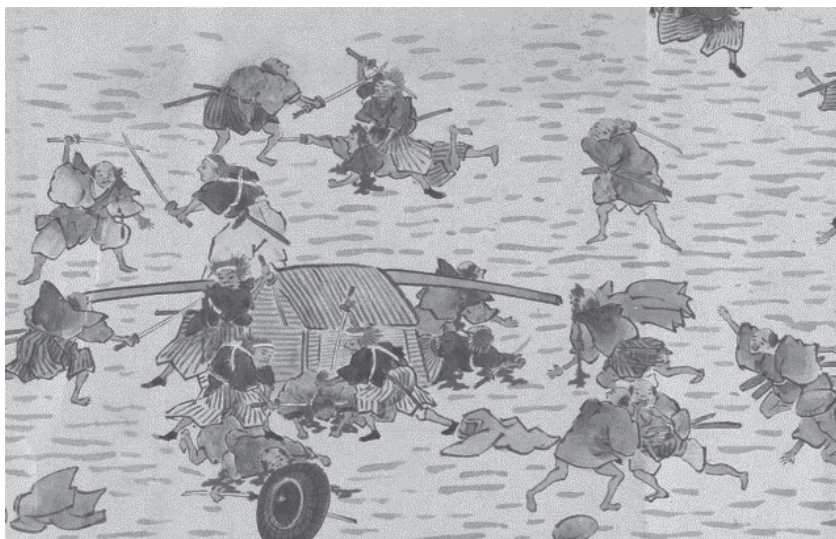
中村：この記事は、現地の慣習や法律に従わなかったイギリス人の行動を正当化しているように見えます。また、この出来事が、イギリス側でも、日本に対する反発を生んだのだと分かります。

先生：そのとおりですね。一方で、アジア諸国が欧米諸国の技術を受容した側面も大事です。②19世紀のアジア諸国では、日本と同じく欧米の技術を導入して近代化政策を進める国が現れました。

問1 文章中の図として適当なものあ・いと、後の年表中のa～cの時期のうち、図に描かれている出来事が起こった時期との組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 10

図として適当なもの

あ



い



日本の対外関係に関する年表

| | |
|-------|-----------------------------|
| 1825年 | 異国船を撃退するよう命じる法令が出された。 |
| | a |
| | 上記法令を撤回し、異国船への燃料や食料の支給を認めた。 |
| | b |
| | イギリス艦隊が鹿児島湾に来て、薩摩藩と交戦した。 |
| | c |
| 1871年 | 清との間に対等な条約が締結された。 |

- ① あ — a ② あ — b ③ あ — c
④ い — a ⑤ い — b ⑥ い — c

問2 下線部④に示された記事の内容を会話文から推測する場合、記事の内容として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **11**

- ① イギリス人は、日本の慣習に従って身分の高い武士に対しては平伏すべきである。
② イギリス人は、日本においてもイギリスの法により保護されるべきである。
③ イギリス人は、日本の許可なく居留地の外に出るべきではない。
④ イギリス人は、日本が独自に関税率を決定することを認めるべきではない。

問3 下線部⑥について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **12**

- ① ある国では、計画経済の建て直しと情報公開を基軸として、自由化と民主化を目指す改革が進められた。
② ある国では、「四つの現代化」を目標に掲げ、市場経済を導入した改革・開放政策が行われた。
③ ある国では、儒教に基づく伝統的な制度を維持しつつ、西洋式の兵器工場や造船所を整備する改革が進められた。
④ ある国では、労働者に団結権が認められるとともに、失業者対策と地域開発を兼ねて、ダム建設などの大規模な公共事業が行われた。

B 戦争の際のナショナリズムや他者のイメージについて、絵を見ながら生徒と先生が話をしている。

先生：以前の授業では、一つの国民あるいは民族から成る国家を建設する動きをナショナリズムという用語で説明しました。それは異なる言葉や生活様式を持つ人々を均質な国民として統合しようとする動きと言えますね。

まさき：島国として地理的なまとまりが強い日本には、わざわざナショナリズムによって国民を統合するような動きは見られないですね。

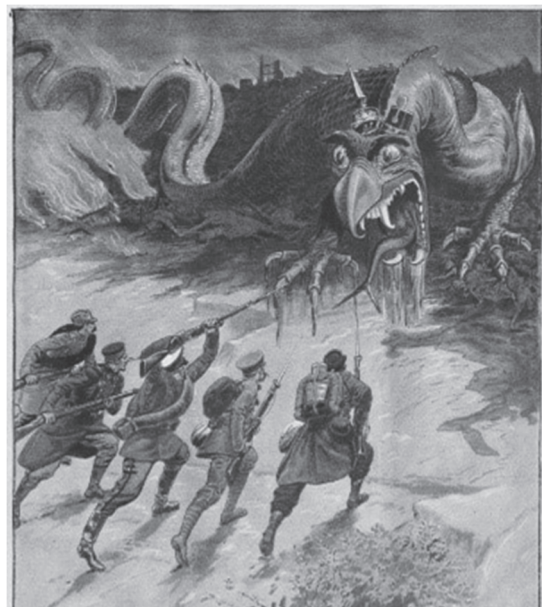
ゆうこ：そんなことはないでしょう。日本は、昔も今も一つの民族による国家だと思える人はいるかもしれませんが、そうではなく、異なった言語や文化を持った人々によって構成されていたのです。近代において、そういった人々を、ナショナリズムによって統合していった歴史があったはずですよ。

まさき：その際、抑圧の側面も存在したと考えてよいのでしょうか。

先生：そのとおりです。

さて今回は、20世紀の戦争に目を向けてみましょう。

そこでは、敵対する他者が戯画化されて、表現されることがよくあります。次の絵を見てください。これは第一次世界大戦が始まった際に、フランスのある新聞に掲載された絵です。解説には、フランスを含む5つの国の「文明戦士がドイツとオーストリアというモン



スターに立ち向かう」と書かれています。5つの国には、フランスのほかに **ア** などが当てはまると考えられますね。どちらも、三国協商を構成した国です。

ゆうこ：交戦相手を怪物として描いてその恐ろしさを強調することで、敵に対する国民の憎悪をかきたてて団結させようとしているのですね。

まさき：このように敵対意識を表現することや、他の国と比べて自国を良いものだと考えることで自国への愛着を促すこと、これらもナショナリズムと言えるのでしょうか。

先生：そのとおりです。ほかにも、植民地支配からの独立を目指す動きもナショナリズムに基づいていると言えます。

ゆうこ：◎ナショナリズムには多様な現れ方があるのですね。

問4 文章中の空欄 **ア** について、(1) 及び (2) の問いに答えよ。

(1) 文章中の空欄 **ア** に入る国の名として正しいものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。なお、正しいものは複数あるが、解答は一つでよい。 **13**

- | | |
|-----------|-------------|
| ① アメリカ合衆国 | ② イギリス |
| ③ イタリア | ④ チェコスロヴァキア |
| ⑤ 日本 | ⑥ ロシア |

(2) (1) で選んだ国について述べた文として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。 **14**

- ① 血の日曜日事件が起こった。
- ② サルデーニャ王国を中心として統一された。
- ③ 奴隷解放宣言が出された。
- ④ ズデーテン地方を割譲した。
- ⑤ チャーティスト運動が起こった。
- ⑥ 中国に対して、二十一か条の要求を行った。

問 5 下線部◎に関連して、ナショナリズムの現れ方として考えられることあ・いと、その事例として最も適当な歴史的出来事X～Zとの組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 15

ナショナリズムの現れ方として考えられること

あ 国内で支配的位置にある多数派の民族が、少数派の民族を同化しようとする
こと。

い 外国による植民地支配から脱して、自治や独立を勝ち取ろうとすること。

歴史的出来事

X ロシアとの戦争が迫る情勢の中で、幸徳秋水が非戦論を唱えた。

Y 明治期の日本政府が、北海道旧土人保護法を制定した。

Z ガンディーの指導で、非暴力・不服従運動が行われた。

① あ — X い — Y

② あ — X い — Z

③ あ — Y い — X

④ あ — Y い — Z

⑤ あ — Z い — X

⑥ あ — Z い — Y

- C 1970年に開催された日本万国博覧会（大阪万博）について、生徒たちが、万博に関わる当時の新聞記事（社説）を探して、記事から抜き書きを作成した。

社説の抜き書き

- ・万博に参加した77か国のうち、初参加のアジア・アフリカなどの発展途上国が25か国に上っていた。
 - ・アジア・アフリカなどの発展途上国のパビリオン（展示館）では、一次産品の農産物・地下資源や民芸品・貝殻などが展示されていた。
 - ・こうした発展途上国のパビリオンからは、GNP（国民総生産：国の経済規模を表す指標の一つ）は低くとも、自然と人間が関わり合う生活の中に、工業文明の尺度では測れない固有の文化の価値体系を知り得た。
 - ・高度工業文明とGNP至上主義の中で、「物心両面の公害」に苦しめられている今日の日本人にとって、発展途上国のパビリオンから知り得た文化と風土の多様性こそ、人間の尊厳と、人間を囲む自然の回復を考える手掛かりである。
- （『読売新聞』1970年9月13日朝刊（社説）より作成）

- 問6 センリさんのグループは、社説が発展途上国のパビリオンの特徴に注目しながら、同時代の日本の状況を顧みていることに気付いた。その上で、当時の世界情勢で社説が触れていないことについても、議論してみようと考えた。社説が踏まえている当時の日本の状況について述べた文あ・いと、当時の世界情勢で社説が触れていないことについて述べた文X・Yとの組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

16

社説が踏まえている当時の日本の状況

あ 第1次石油危機（オイル=ショック）により，激しいインフレが起こっていた。

い 環境汚染による健康被害が問題となり，その対策のための基本的な法律が作られた。

当時の世界情勢で社説が触れていないこと

X アジアでは，開発独裁の下で工業化を進めていた国や地域があった。

Y アラブ諸国では，インターネットを通じた民主化運動が広がり，独裁政権が倒された国があった。

- ① あ — X
- ② あ — Y
- ③ い — X
- ④ い — Y

問 7 センリさんのグループでは，発展途上国が万博に積極的に参加した背景について調べ，メモにまとめた。メモ中の空欄 **イ** ・ **ウ** に入る語句の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 **17**

メモ

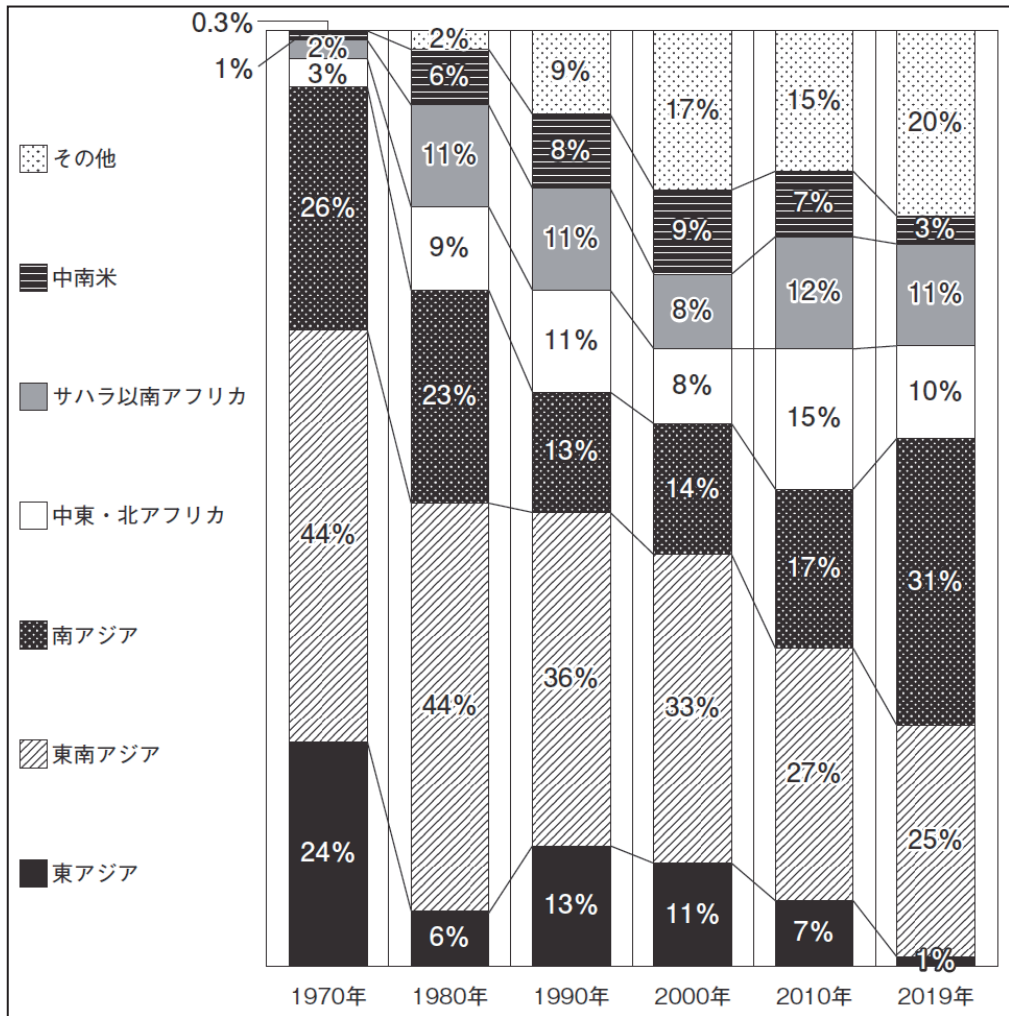
1960年に **イ** で17か国が独立を果たすなど，1960年代には独立国の誕生が相次いだ。新たに独立した国々の中には **ウ** する国もあるなど，発展途上国は国際社会において存在感を高めていた。

- ① イ — アフリカ ウ — 非同盟諸国首脳会議に参加
- ② イ — アフリカ ウ — 国際連盟に加盟
- ③ イ — 東南アジア ウ — 非同盟諸国首脳会議に参加
- ④ イ — 東南アジア ウ — 国際連盟に加盟

問 8 ユメさんのグループは、万博後の発展途上国と日本の関係について、政府開発援助（ODA）から考えることとし、日本の ODA の地域別配分割合の推移を示すグラフを作成し、そこから考えたことをメモにまとめた。3 人のメモの正誤について述べた文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

18

グラフ 日本の 2 国間 ODA の地域別配分割合の推移



(外務省国際協力局「2020年版開発協力参考資料集」より作成)

(注) 四捨五入のため、合計は必ずしも100%にならない。

ユメさんのメモ

1970年に東アジアの割合が24%に達していたのは、中華人民共和国への援助が開始されていたためである。

テルさんのメモ

2010年までは、どの年についても、東南アジアの割合が最も大きかった。東南アジアの中には、日本が賠償を行った国々が含まれていた。

アインさんのメモ

1970年から2019年にかけて、南アジアの割合は一貫して減少し、日本の援助先としての重要性が、他地域と比べて低下している。

- ① ユメさんのメモのみが正しい。
- ② テルさんのメモのみが正しい。
- ③ アインさんのメモのみが正しい。
- ④ 全員のメモが正しい。

公 共

公 共

(解答番号 ~)

第1問 次の生徒 **X** と生徒 **Y** の多様性と共通性に関する会話文を読み、後の問い(問1~4)に答えよ。なお、設問の都合上、**X** と **Y** の各発言には番号を振っている。
(配点 13)

- X1** : 2021年に開催されたオリンピック・パラリンピックは①「多様性」がテーマの一つだったね。「違いを認め合おう」とメッセージを発信していた。人種や民族、文化、性別、宗教、地域、障害の有無等の違いを認め合おうということだね。
- Y1** : 様々な「違い」が強調されるんだけど、それぞれが「同じ」尊厳ある人間だという共通性については、あまり強調しない。
- X2** : でも、②人間はそれぞれの地域に固有の文化や伝統の中に生まれ落ち、その文化や伝統を糧にして育つ。だから人も社会も文化も違っていて多様なんだよね。
- Y2** : 一方で、人間が生まれながらもつとされる自然権や基本的人権といった権利が、多様な人間の共通性の基盤ともなっている。自然法を起点にして③各種の法を捉えるという思想もある。
- X3** : その思想に近いものは、ほかにもあるのかな。
- Y3** : 例えば、行為の善さは行為の結果にあるのではなく、多様な人々に共通している人格を尊重しようとする意志の自由にあるという思想が挙げられる。この思想を唱える哲学者は、すべての人には地表を共同で所有する権利があるのだから、どんな人にも外国を「訪問する権利」があると言っている。

問1 多様性と共通性に関する生徒Xと生徒Yの会話文について、次のア～エの考えのうち、Y3の発言にある「この思想を唱える哲学者」の考えとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 1

ア 人間は自分で自分のあり方を選択していく自由な存在であると同時に、自分の選択の結果に対して責任を負う存在でもある。個人の選択は社会全体のあり方にも影響を与えるので、社会への参加、すなわち「アンガジュマン」を通して個人は社会に対して責任を負う、という考え

イ 人間はこの世界では不完全で有限だが、この世界に生まれる以前、魂は、完全で永遠な「アイデア」の世界にあったので、この世界においても、魂は、アイデアへの憧れをもっている。その憧れが哲学の精神であり、統治者がこの精神をもつことによって、理想的ですぐれた国家が実現できる、という考え

ウ 人間は各々個別の共同体で育ち、共同体内で認められることで自己を形成する。それゆえ、個人にとっての善と共同体にとっての善とは切り離すことができず、各共同体内で共有される「共通善(公共善)」とのつながりによって、個人の幸福で充実した生は実現する、という考え

エ 人間は自己を目的として生きており、どんな相手をも手段としてのみ利用してはならない。この道徳法則に従うことを義務として自らを律する人々が形成する社会を普遍的な理念とするべきであり、「永遠平和」を実現するためには、この理念を国際社会にも拡大すべき、という考え

① ア ② イ ③ ウ ④ エ

問2 下線部④に関して、ある鉄道会社で就業体験活動をした生徒Xは、その資料室で見ることができた1970年代の写真と現在の様子を比べ、多様性の尊重として、ア～エに示す改善・工夫が行われてきたことに気付いた。それらは、法令の施行や改定とも関連があると思われた。

後の法令A～Cのうち、BとCの目的・趣旨に基づく改善・工夫をア～エのうちからそれぞれ選び、その組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 2

気付いた改善・工夫

- ア 昔の写真ではお守りや御札がオフィスや運転席に置かれているが、現在では置かれていない。
- イ 昔の写真では車掌や運転士は男性で、女性はオフィスで働いているが、現在では多くの業務に女性も男性も従事している。
- ウ 昔の写真では改札口の間が狭く、ホームをつなぐ高架には階段しかないが、現在では幅が広い改札口もあり、エレベーターなども設置されている。
- エ 昔の写真では駅や車内の案内は漢字やひらがな、ローマ字つづりでの表示であるが、現在では多言語表示がなされている。

- A 消費者基本法
B 障害者差別解消法
C 男女雇用機会均等法

- ① B－ア C－ウ
② B－ア C－エ
③ B－イ C－エ
④ B－ウ C－ア
⑤ B－ウ C－イ
⑥ B－エ C－イ

(下書き用紙)

公共の問題は次に続く。

問3 下線部⑥に関して、生徒Xと生徒Yの学校では課外活動で地元の自治体に協力し、桃の節句、菖蒲の節句に合わせてSDGsに関するイベントを企画することになった。次のイベント企画案は、市役所のエントランスホールなどの施設を利用して、一回につき二つの目標を取り上げるものである。

イベント企画案中の ア イ に当てはまる目標の組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 3

イベント企画案

| 目 標 | 月 | イベント概要 |
|--|-------------|---|
| <input type="checkbox"/> ア と  | 2 ～ 3 | <p>性にかかわらず、すべての人が様々な分野を通じて、社会全体の創造性などに寄与できるようにする取組みや、国際労働機関(ILO)と国連女性機関(UN WOMEN)の取組みを紹介する。科学における女性と女児の国際デー(2月11日)、国際女性デー(3月8日)の月にあたり、雛人形の工作の準備をし、あらかじめ用意した飾り段の上に、各自で製作した様々な人形を自由に置いてもらう。</p> |
| <input type="checkbox"/> イ と  | 4 ～ 5 | <p>妊娠中の人に特に重要な職場や家庭での分煙、また、多機能トイレの設置数の増加を呼びかける。若年層を喫煙の害から守る世界保健機関(WHO)の取組みを紹介する展示を行う。世界保健デー(4月7日)、世界禁煙デー(5月31日)の月にあたり、菖蒲の束をその場で作ってもらう。希望者には持ち帰り、湯船に入れてもらうなどする。</p> |

| | ① | ② | ③ | ④ |
|---|--|--|--|--|
| ア | 8 働きがいも 経済成長も  | 11 住み続けられる まちづくりを  | 13 気候変動に 具体的な対策を  | 16 平和と公正を すべての人に  |
| イ | 3 すべての人に 健康と福祉を  | 10 人や国の不平等 をなくそう  | 17 パートナーシップで 目標を達成しよう  | 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに  |

問4 下線部◎に関して、生徒Xと生徒Yは日本における民法の変遷について調べてまとめた。このうち、現行の民法の内容に関する記述として正しいものを次のア～ウからすべて選んだとき、その組合せとして最も適当なものを、後の①～⑧のうちから一つ選べ。 4

ア 現行の民法では、成年年齢に達するということには、親権に服さなくなるという意味がある。

イ 現行の民法では、当事者の一方が未成年である場合に、未成年が単独で相手方とした契約は、原則として後になって取り消すことができることが定められている。

ウ 現行の民法では、当事者の一方が公序良俗に反する内容の契約を申し出た場合に、相手方がそれに合意する限りにおいて、その契約は有効となり、後になって取り消すことができないことが定められている。

- ① アとイとウ ② アとイ ③ アとウ ④ イとウ
⑤ ア ⑥ イ ⑦ ウ ⑧ 正しいものはない

第2問 「公共」の授業で政治の仕組みや政治参加等の学習をした後、模擬選挙を行った。これに関して、次の問い(問1~4)に答えよ。(配点 12)

問1 先生は、日本の政治の仕組みと政治参加について説明した内容をモニターに投影した。その際、次の**先生がまとめた内容**中の波線部についてさらに深く考察できるようにするために、日本の政治の仕組みと政治参加について考えられることを、後の図のように整理して説明した。この図には、**先生がまとめた内容**から読み取れる具体的なこと(事実)、そのことから言えること(主張)、そう言える理由となること(理由付け)が分けて示してある。

次の**先生がまとめた内容**及び後の図中の **ア**・**イ** に当てはまる原則と、**ウ**・**エ** に当てはまる考え方の組合せとして最も適当なものを、後の①~④のうちから一つ選べ。 **5**

先生がまとめた内容

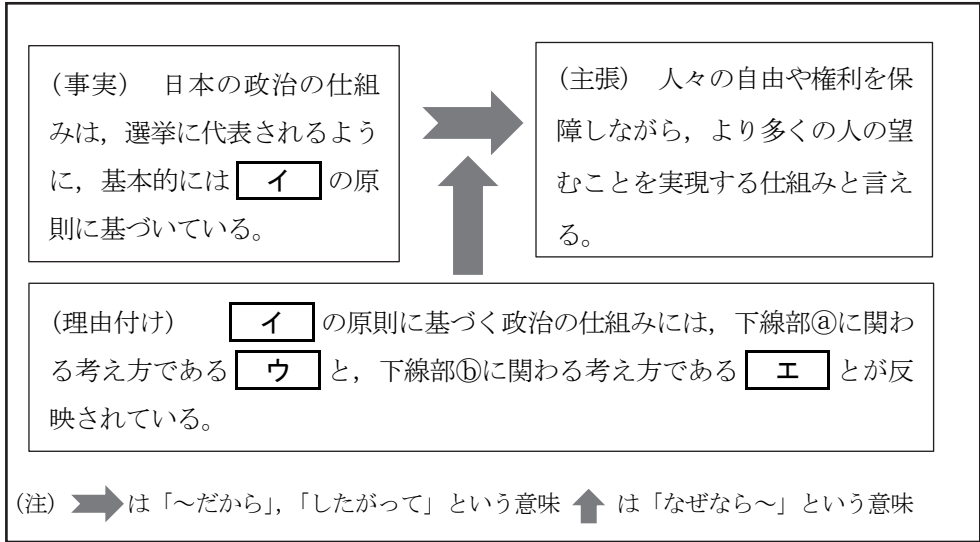
日本では、選挙で選ばれた議員で構成される国会で、様々な考え方や利害の対立を調整しながら法律を定めて、社会の秩序を維持し統合を図る政治を行っています。

ここで大切なことは、①国民の合意により政府をつくるという考えに基づいて、国会が国権の最高機関として重要な権限を与えられていることや、②より多くの人々にとって望ましい政治を行うことができるようにするために、多数決の原則が取り入れられているが、少数の意見にも配慮しなければならないということです。

こうして日本の政治は、憲法改正の国民投票など、**ア**の原則を取り入れながらも、基本的には国会を中心とした、**イ**の原則に基づいて行われているのです。

だから、選挙で投票しない人が増えると、日本の政治は一部の人の考え方だけに基づいて進められてしまいかねないのです。

図



| | [ア] | [イ] | [ウ] | [エ] |
|---|--------|--------|--------|--------|
| ① | 間接民主主義 | 直接民主主義 | 社会契約思想 | 功利主義 |
| ② | 間接民主主義 | 直接民主主義 | 功利主義 | 社会契約思想 |
| ③ | 直接民主主義 | 間接民主主義 | 社会契約思想 | 功利主義 |
| ④ | 直接民主主義 | 間接民主主義 | 功利主義 | 社会契約思想 |

問2 先生の説明を聞いた生徒Xは、どのような制度が国民の意思を政治に反映させることにつながっているのかを、生徒Yと話し合った。次の会話文中の **ア** ～ **ウ** に当てはまるものの組合せとして最も適当なものを、後の①～⑧のうちから一つ選べ。 **6**

X：日本において、国民の意思を政治に反映させるための仕組みは、日本国憲法前文に「日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し」と明記されているけど、どのような制度に支えられているのかな。

Y：議院内閣制という制度が採用されているよね。

X：議院内閣制では、行政府の長を選出するにあたって、国会で内閣総理大臣が指名されるのだから、国民の意思を **ア** に行政府の長の選出に反映させる制度だね。

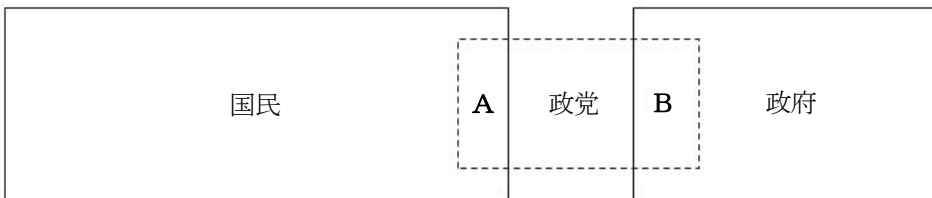
Y：一方で、裁判所との関係だと、**イ** は、衆議院議員総選挙の際、総選挙と同時に最高裁判所裁判官がその職責にふさわしいかについて、国民の意思を **ウ** に裁判官の任命に反映させる制度だね。

- | | ア | イ | ウ |
|---|----------|----------|----------|
| ① | 直接的 | 弾劾裁判 | 直接的 |
| ② | 直接的 | 弾劾裁判 | 間接的 |
| ③ | 直接的 | 国民審査 | 直接的 |
| ④ | 直接的 | 国民審査 | 間接的 |
| ⑤ | 間接的 | 弾劾裁判 | 直接的 |
| ⑥ | 間接的 | 弾劾裁判 | 間接的 |
| ⑦ | 間接的 | 国民審査 | 直接的 |
| ⑧ | 間接的 | 国民審査 | 間接的 |

問3 日本における政治の原則が何かを学んだ生徒Xは、さらにその原則を支える様々な政治制度に関心をもった。次の図は、有権者などで構成される国民と政府と政党の関係を示したものである。図中のAは、国民と政党との関係を、Bは政府と政党との関係を示している。

政党に関する後のア～エの記述を、AとBのどちらに直接関係するかで分類するとき、その分類した結果の組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 7

図 国民と政府と政党の関係



- ア 政治献金により、政党は活動資金を調達している。
- イ 政党には、有権者の利益が何かを明らかにしていく機能がある。
- ウ 政党には、政府を形成する機能がある。
- エ 政党助成法により、多くの政党に政党交付金が支給されている。

- ① A－アとイ B－ウとエ
- ② A－アとウ B－イとエ
- ③ A－アとエ B－イとウ
- ④ A－イとウ B－アとエ
- ⑤ A－イとエ B－アとウ
- ⑥ A－ウとエ B－アとイ

問4 生徒Xは、政治の仕組みや政治参加等の学習を踏まえて実施された模擬選挙を通して、自らの考えを投票に反映させることの大切さを実感した。そこで、実際の選挙では人々がどのような考えに基づいて投票を行ってきたのか自ら調べた上で、次のノートに有権者の投票行動を説明する理論的観点としてまとめ、今後の自身の投票行動に生かそうと考えた。後の投票行動ア～エは、今回の模擬選挙において4人の生徒がどのような考えに基づいて投票を行ったのかを示している。

投票行動ア～エのうち、ノートにある争点投票の観点から説明することができるものの組合せとして最も適当なものを、後の①～⑨のうちから一つ選べ。 8

ノート 有権者の投票行動を説明する理論的観点

候補者イメージ：候補者のイメージを重視

争点投票：選挙戦において、有権者が重視する争点に対し、候補者がいかなる政策を示しているかを重視

業績投票：政権が過去に行った政策に対する評価を重視

投票行動

ア 生徒Aは前政権の経済成長戦略を評価して、当時の野党であった政党の候補者ではなく、与党であった政党の候補者に投票した。

イ 生徒Bは財政再建を期待して、積極的な財政支出を求める候補者ではなく、基礎的財政収支の均衡を求める候補者に投票した。

ウ 生徒Cは政治改革の必要性を重視していたので、国会のあり方について、現状維持を訴えていた候補者ではなく、二院制改革を訴えていた候補者に投票した。

エ 生徒Dは政治に対する不信感から、当選回数を重ねている候補者ではなく、さわやかさを前面に打ち出して選挙戦を展開していた候補者に投票した。

① アとイとウ

② アとイとエ

③ アとウとエ

④ アとイ

⑤ アとウ

⑥ アとエ

⑦ イとウ

⑧ イとエ

⑨ ウとエ

(下書き用紙)

公共の問題は次に続く。

第3問 今日の活発な経済活動とそれに対する私たちのあり方に関して、次の問い(問1～4)に答えよ。なお、設問の都合上、問1の生徒Xと生徒Yの各発言には番号を振っている。(配点 13)

問1 次の生徒Xと生徒Yの会話文を読み、Y2～Y5のうち、行為の動機となる公正さからその行為が正しいかどうかを判断する考え方Aと、結果や効果から行為が正しいかどうかを判断する考え方Bとに分けたとき、考え方Bに当てはまるものの組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

| |
|---|
| 9 |
|---|

X1：ロードプライシングという施策を知っているかな。

Y1：聞いたことがあるよ。例えば、渋滞しそうな時間帯やルートの料金を高く設定したり、利用者数を増やしたい時間帯やルートの料金を低く設定したりする方法などが採られる取組みのことだよな。

X2：そうだね。この施策が実際に導入されたらどうなると思うかな。

Y2：高い料金を支払ってでも利用することに価値があると思えば、より多くの料金を支払ってもいいと思うだろう。一方で、それだけの高い料金を払いたくない人は、料金の高い時間帯やルートの使用を控えるだろう。こうして需要側で調整がなされることで、渋滞の解消につながるのではないかな。

X3：本当にいいことばかりかな。

Y3：どうしても有料道路を使わなくてはならないとき、所持しているお金が少ないと使えないのであれば、公共財としての道路のあり方としてどうだろうか。

X4：では、どんなときでも渋滞が起こらないように、最大限に予算を投じて道路を整備するべきなのかな。

Y4：それもおかしいかな。お金や資源には限りがあるのだから、他の事業や制度の整備のためにお金や資源を効率的に配分する施策を行うべきだよな。

X5：では、大勢の人の満足を第一に考えるという施策はどんなのかな。

Y5：そう言われると悩むな。少数の人にも配慮するべきだと思う。

- ① Y2とY3 ② Y2とY4 ③ Y2とY5
 ④ Y3とY4 ⑤ Y3とY5 ⑥ Y4とY5

問2 実際の経済活動では、家計や企業などの各経済主体や多数の市場が相互に依存している。自分だけ、あるいは、一企業にとって合理的で正しいと思う行為が、全体としてみた場合には正しいとは限らないことがある。経済学では、その現象を合成の誤謬^{ごびゅう}として説明する。合成の誤謬に当てはまる事例を次のア～ウからすべて選んだとき、その組合せとして最も適当なものを、後の①～⑧のうちから一つ選べ。

10

ア ある国では、各企業が、景気の先行きが不透明であると考え、人件費を削減するために無期雇用を有期雇用へと積極的に置き換えたところ、将来に対する不確実性が高まり、需要が大規模に縮小したため、国民総所得が一層低下した。

イ ある国では、各家庭が、福祉重視の政策を期待できないと考え、子どもの将来や老後の生活に備えるために積極的に貯蓄したところ、消費が縮小して多くの商品の市場価格が低下し、人々の給与水準も低下したため、国民総所得が低下した。

ウ ある国では、各金融機関が、今後も不況が続くだろうと考え、経営基盤の強化を図るために企業への貸出を制限したところ、設備投資の拡大を諦めて、リストラを図る企業が増えたため、国民総所得がさらに低下した。

- ① アとイとウ ② アとイ ③ アとウ ④ イとウ
 ⑤ ア ⑥ イ ⑦ ウ ⑧ 当てはまる事例はない

問3 政府や中央銀行は、政策を通じて国内経済に安定をもたらしている。次のグラフは、国民所得の増加率に関する推移を表し、後の図は、一般的なポリシー・ミックスの手續きと期待される効果を示したものである。経済状態がグラフ中の時期Ⅶ～Ⅸの間にあるとき、図中の **ア**・**イ** の政策、**A**・**B** の手段、**C** の効果のうち、**ア**・**B**・**C** に当てはまる正しい語句の組合せとして最も適当なものを、後の①～⑧のうちから一つ選べ。 **11**

グラフ 国民所得の増加率に関する推移

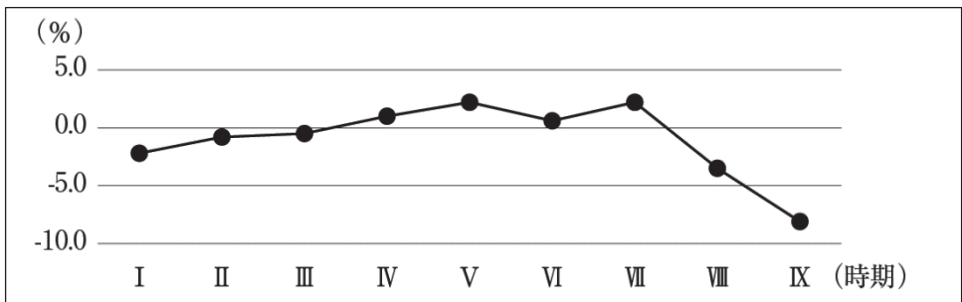
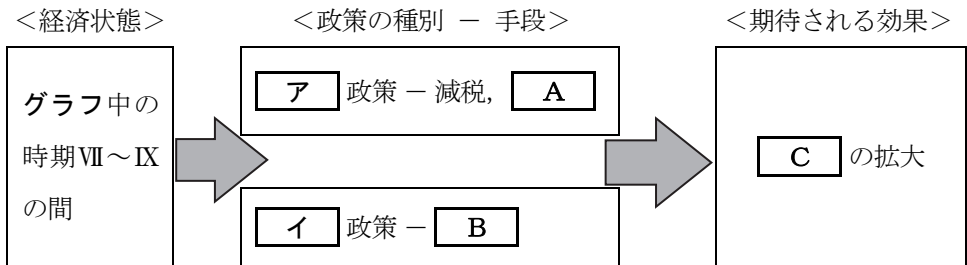


図 一般的なポリシー・ミックスの手續きと期待される効果



- | | | |
|-------------------|-----------------------|-----------------|
| ① ア —裁量的財政 | B —金利引き上げと売りオペ | C —投資と消費 |
| ② ア —裁量的財政 | B —金利引き上げと売りオペ | C —貿易黒字 |
| ③ ア —裁量的財政 | B —金利引き下げと買いオペ | C —投資と消費 |
| ④ ア —裁量的財政 | B —金利引き下げと買いオペ | C —貿易黒字 |
| ⑤ ア —金融 | B —金利引き上げと買いオペ | C —投資と消費 |
| ⑥ ア —金融 | B —金利引き上げと買いオペ | C —貿易黒字 |
| ⑦ ア —金融 | B —金利引き下げと売りオペ | C —投資と消費 |
| ⑧ ア —金融 | B —金利引き下げと売りオペ | C —貿易黒字 |

(下書き用紙)

公共の問題は次に続く。

問4 民間企業の発行する電子マネーや暗号資産(仮想通貨)の登場によって、経済構造に新たな変化がもたらされる可能性がある。貨幣の発行・流通について、次の生徒Xと生徒Yの会話文を読み、会話文中の **A** ～ **D** に当てはまる語句の組合せとして最も適当なものを、後の①～⑧のうちから一つ選べ。 **12**

X：民間企業が発行する電子マネーや国境を越えて流通する暗号資産(仮想通貨)が使われるようになってきたね。

Y：国境を越えるということは、政府や中央銀行といった金融当局が監督できないままに使われるようになったということなのかな。例えば、日本では **A** が紙幣を独占的に発行しているから安心して使えるけれども、暗号資産(仮想通貨)などの運用に不安はないのかな。

X：小さな政府を唱えた経済学者のハイエクは、「貨幣発行における政府独占が廃止され、民間発行者の **B** に委ねられて、さまざまな通貨が供給されるようになったら、何が起きるだろうか」という問いを立てて、思考実験しているよ。

Y：複数の貨幣が発行され、同時に流通することを想定したモデルなんだね。どうなるのかな。

X：ハイエクは、次のような帰結がもたらされるものと考えているんだ。

「(a)購買力がほぼ一定に保たれると広く予想される貨幣は、人々がそれを自由に使うことができる限り、持続的な **C** があるだろう。

(b)そのような持続的な **C** は通貨としての価値を一定に保つことができるかどうか依存するので、人々は、発行した貨幣の価値が減少しても何らの損失を被ることのない独占的発行機関よりも、通貨価値の安定を達成するために全力を尽くす発券銀行を信頼するだろう。

(c)通貨の発行機関は、**D** 量を調整することによって通貨価値の安定化を達成できるだろう。」

と分析しているよ。

Y：でも、暗号資産(仮想通貨)は、むしろ価値が大きく変動していることで注目されているね。貨幣の通用根拠を明らかにするのはなかなか難しそうだね。

| | A | B | C | D |
|---|------|------|----|----|
| ① | 財務省 | カルテル | 供給 | 需要 |
| ② | 財務省 | カルテル | 需要 | 供給 |
| ③ | 財務省 | 自由競争 | 供給 | 需要 |
| ④ | 財務省 | 自由競争 | 需要 | 供給 |
| ⑤ | 日本銀行 | カルテル | 供給 | 需要 |
| ⑥ | 日本銀行 | カルテル | 需要 | 供給 |
| ⑦ | 日本銀行 | 自由競争 | 供給 | 需要 |
| ⑧ | 日本銀行 | 自由競争 | 需要 | 供給 |

第4問 「公共」の授業で1年間のまとめとして、生徒Xは同じ関心をもつ生徒たちとグループをつくり、「人口減少が続く中でどのような社会をつくれればよいか」という課題を設定し、探究活動を行った。これに関して、後の問い(問1~4)に答えよ。
(配点 12)

問1 生徒Xたちは、人口減少の要因やその対策を考察するための資料を収集・分析する中で、人口減少の主要因は少子化だと考え、出産・子育て支援策について検討した。次の生徒Xたちのメモ中の **A** ・ **B** に当てはまるものの組合せとして最も適当なものを、後の①~⑥のうちから一つ選べ。 **13**

生徒Xたちのメモ

出産や子育ては、社会状況の変化などにより、保護者となる世代に個人的な負担が重くのしかかってきた。

日本においては、1972年に児童手当法が施行され、保護者に対し、児童手当が支給されている。児童手当法はその後の改定の過程で、出生順位の規定が撤廃され、支給対象年齢が拡大され、現在は子どもの年齢や出生順位によって金額に重みがつけられている。ただし、児童手当の支給には保護者の所得制限がある。一般的に給与などは、各人の能力や功績に比例して決められる、すなわちアリストテレスが言う **A** 的正義に基づいていることが少なくない。一方、児童手当の所得制限では、収入が高ければ逆に支給が抑えられている。

児童手当などの日本の出産・子育て支援策としての社会給付は、社会が子育てに責任をもち、子育てを支えるという考え方を反映していると考えられる。アリストテレスは、法を守り、共同体の善を実現する **B** 的正義を提唱している。これからの日本では、どのような出産・子育て支援策が考えられるだろうか。

- | | | | |
|--------|------|--------|------|
| ① A—配分 | B—調整 | ② A—配分 | B—全体 |
| ③ A—全体 | B—配分 | ④ A—全体 | B—調整 |
| ⑤ A—調整 | B—全体 | ⑥ A—調整 | B—配分 |

問2 生徒Xたちは、日本とヨーロッパのOECD加盟国について、次の図1・図2を示しながら「日本は出産・子育て支援策として、保育サービスなどの『現物給付』の充実を図る必要がある。」という提案を行うことにし、事前に他のグループに説明したところ、後のア～エのような意見が他の生徒からあった。

ア～エのうち図1・図2を正しく読み取った上での意見の組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 14

図1 「現金給付」対GDP比と合計特殊出生率

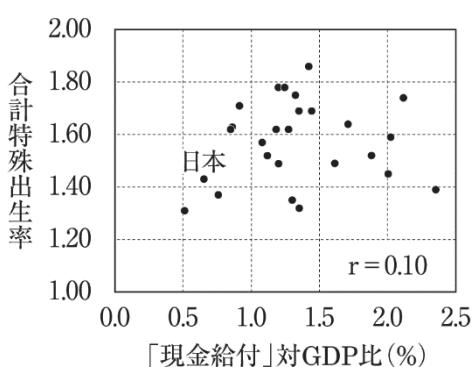
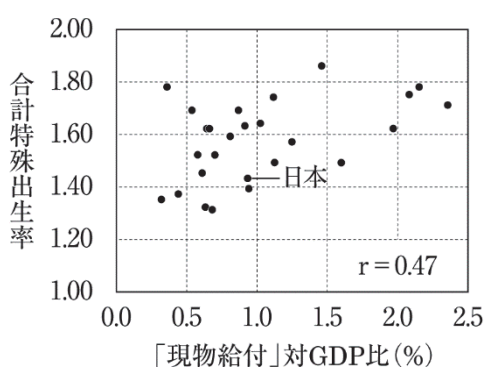


図2 「現物給付」対GDP比と合計特殊出生率



(注) 「現金給付」対GDP比及び「現物給付」対GDP比とは、家族関係政府支出「現金給付」及び「現物給付」の支出額のGDPに対する比率を表す。rは相関係数を示す。

(出所) 図1・図2ともOECD.Stat (“OECD” Web ページ)の2017年の統計により作成。

- ア 日本よりも合計特殊出生率が低いすべての国は、「現金給付」対GDP比が日本より低いため、「現金給付」より「現物給付」の充実に重点を置く提案に賛同する。
- イ 「現金給付」対GDP比と合計特殊出生率には強い相関があるため、「現物給付」より「現金給付」の充実に重点を置くべきである。
- ウ 「現物給付」対GDP比が日本より低くても合計特殊出生率が1.60を超える国々があるため、「現物給付」の充実を提案する前に諸外国の状況を調査してはどうか。
- エ 「現物給付」対GDP比と合計特殊出生率との因果関係は示されていないため、「現物給付」の充実を提案するためには別の資料も準備した方がよい。

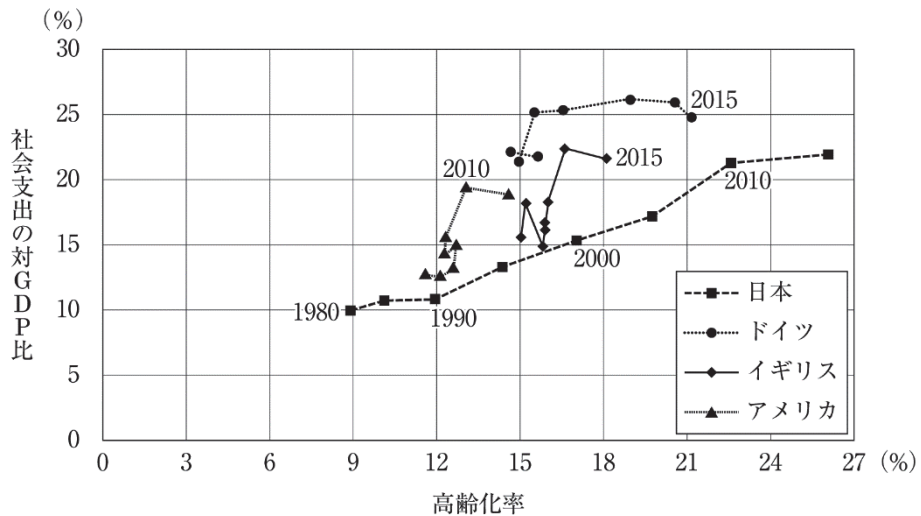
- ① アとイ ② アとウ ③ アとエ
- ④ イとウ ⑤ イとエ ⑥ ウとエ

問3 生徒Xたちは、高齢化の進行と、少子化による人口減少が進むと、社会保障の面で問題が生じるのではないかと考えた。このことを中間発表で説明したところ、「今後の日本には、どのような社会保障のあり方が望ましいと考えますか。諸外国の給付規模などとの比較を踏まえて、教えてください。」という質問が他の生徒からあった。

これに対し、生徒Xたちは準備していた次の図3を踏まえ、回答した。図3は、1980年から2015年における5年ごとの日本、ドイツ、イギリス、アメリカの高齢化率と社会支出の対GDP比が表されており、生徒Xたちの回答中のA～Dは、日本、ドイツ、イギリス、アメリカのいずれかである。

生徒Xたちの回答中のA・Dに当てはまる国名及びEに当てはまる文の組合せとして最も適当なものを、後の①～③のうちから一つ選べ。 15

図3 高齢化率と社会保障の給付規模の国際比較



(注) 横軸の高齢化率は、その国の全人口に占める65歳以上人口の割合を示している。縦軸の「社会支出」とは、人々の厚生水準が極端に低下した場合にそれを補うために個人や世帯に対して財政支援や給付をする公的供給のことを表している。

(出所) 厚生労働省「令和2年版厚生労働白書」により作成。

生徒Xたちの回答

A は、1980年から2015年にかけて、**図3**中の他のいずれの国よりも急速に高齢化が進行したと言える。そのため、社会保障の給付規模は、高齢化率が高くなるに従って、社会支出の対GDP比も大きくなっている。

B は、高齢化率も社会支出の対GDP比も相対的に低い水準にある。こうした傾向は、市場経済を重視する立場から、労働移動や自助努力を促す政策を展開してきたことと関連していると考えられる。

C では、1995年から2010年にかけて社会支出の対GDP比はほぼ横ばいであった。また、**C** は市場経済を重視していると考えられるが、1980年においてすでに他国と比べて高水準の社会支出対GDP比を実現していた。

C に次いで1980年に高齢化率が高かった**D** では、1990年から2010年にかけて社会支出の対GDP比が大きく引き上げられた。この現象は、1990年代にそれまでの政策からの転換を遂げたことと関連していると考えられる。

このようにして、**図3**に基づいて考えると、**E** が、今後の日本における社会保障のあり方を構想するための重要な要因になるだろう。

- | | A | D | E |
|---|----------|----------|---|
| ① | 日本 | アメリカ | 一定期間における高齢化率の伸びに対する社会支出の対GDP比の割合を大きくするか否か |
| ② | 日本 | アメリカ | 市場経済と社会保障の双方を重視する政策を推進し、高齢化率を大幅に抑制し続けるか否か |
| ③ | 日本 | イギリス | 一定期間における高齢化率の伸びに対する社会支出の対GDP比の割合を大きくするか否か |
| ④ | 日本 | イギリス | 市場経済と社会保障の双方を重視する政策を推進し、高齢化率を大幅に抑制し続けるか否か |
| ⑤ | ドイツ | アメリカ | 一定期間における高齢化率の伸びに対する社会支出の対GDP比の割合を大きくするか否か |
| ⑥ | ドイツ | アメリカ | 市場経済と社会保障の双方を重視する政策を推進し、高齢化率を大幅に抑制し続けるか否か |
| ⑦ | ドイツ | イギリス | 一定期間における高齢化率の伸びに対する社会支出の対GDP比の割合を大きくするか否か |
| ⑧ | ドイツ | イギリス | 市場経済と社会保障の双方を重視する政策を推進し、高齢化率を大幅に抑制し続けるか否か |

問4 生徒Xたちは、最終発表に向け、人口減少及び高齢化が進行する自らの地域において、高齢者がよりよい生活を送るためにはどのような施策が考えられるかということについて話し合った。次の会話文中の **A** ～ **C** に当てはまる文の組合せとして最も適当なものを、後の①～⑧のうちから一つ選べ。 **16**

X：人口減少、高齢化が進行している私たちの住む地域の中で、どのような施策が考えられるだろうか。

Y：私たちの住む地域は高齢者世帯が多いことから、行政主体での、希望するすべての高齢者世帯への家事援助や配食サービスの実施を提案してはどうだろうか。

X：公正を重視した提案だね。新たな社会保障の施策を考える時に大切な考え方だ。では、効率の面からはどうかな。

Z：効率の面からみると、**A**。

Y：そうだね。Zさんの発言に加えると、**B**ということも考えられるから効率的だし、地元にもメリットがあるね。

W：でも、効率が安易に追求されすぎて、利用者の生活の質(QOL)が損なわれることになってはいけない。提供されるサービスの質を確保し、すべての利用者が適切にサービスを受けられるという公正さの確保も大切なことだ。だから **C** とよいのではないかな。

X：施策を考えるには、様々な視点や立場から検討することが大切だね。

A に入る文

- ア このようなサービスは、新たに行政が始めるよりも、入札を実施して、ノウハウをもつ民間企業に委ね、サービスの提供に関わる費用を行政が負担して提供する方がよいのではないかな
- イ このようなサービスは、各自治体が住民の求めるすべてのサービスに対応できるようにするために、ニーズの有無に関わらず大きな組織を複数作って提供する方がよいのではないかな

B に入る文

- ウ 行政に幾つもの新しい組織が作られることで、その運営に関わる費用が多少増えても、多くの組織が作られることによる新たな雇用の創出が期待できる
- エ 企業は業務を請け負い、また利潤を得るために無駄な経費を抑えらるうし、また、その地域で新たな雇用の創出が期待できる

C に入る文

- オ 行政には、すべての企業がその規模や過去の実績に関わらず入札に参加できる機会の公正を確保する役割を担ってもら
- カ 行政には、企業から高齢者世帯へのサービスの提供後に、その内容を点検することによって公正さを確保する役割を担ってもら

- | | |
|---------------|---------------|
| ① A-ア B-ウ C-オ | ② A-ア B-ウ C-カ |
| ③ A-ア B-エ C-オ | ④ A-ア B-エ C-カ |
| ⑤ A-イ B-ウ C-オ | ⑥ A-イ B-ウ C-カ |
| ⑦ A-イ B-エ C-オ | ⑧ A-イ B-エ C-カ |